

「少子化等に関する県民意識調査」の結果概要

I 県民を対象とした調査

(1) 調査の概要

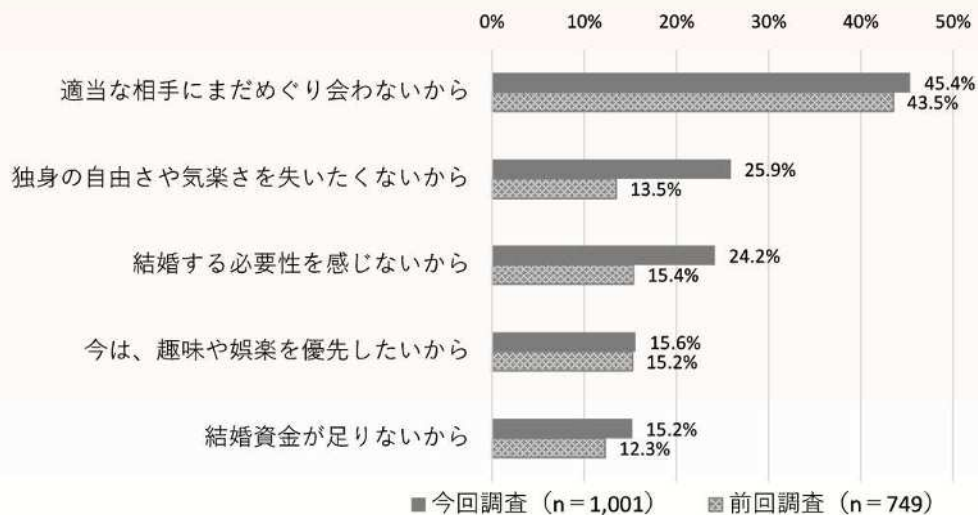
	県民 5,000 人	公募	みなみパス会員
実施時期	令和 5 年 11 月下旬から 12 月上旬に実施		
対象地域	鹿児島県内全域		
調査対象	無作為に抽出した県内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人	県内在住の 18 歳以上の男女	南日本新聞社の会員サービス「みなみパス」会員 10,443 人
調査方法	郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収	インターネットによる配布、回収	みなみアンケート（インターネット調査）による配布、回収
回収数・回収率	1,405 件 (28.1%)	2,957 件	2,233 件

(2) 主な調査結果（「かごしま子ども未来プラン 2020」の重点目標項目）

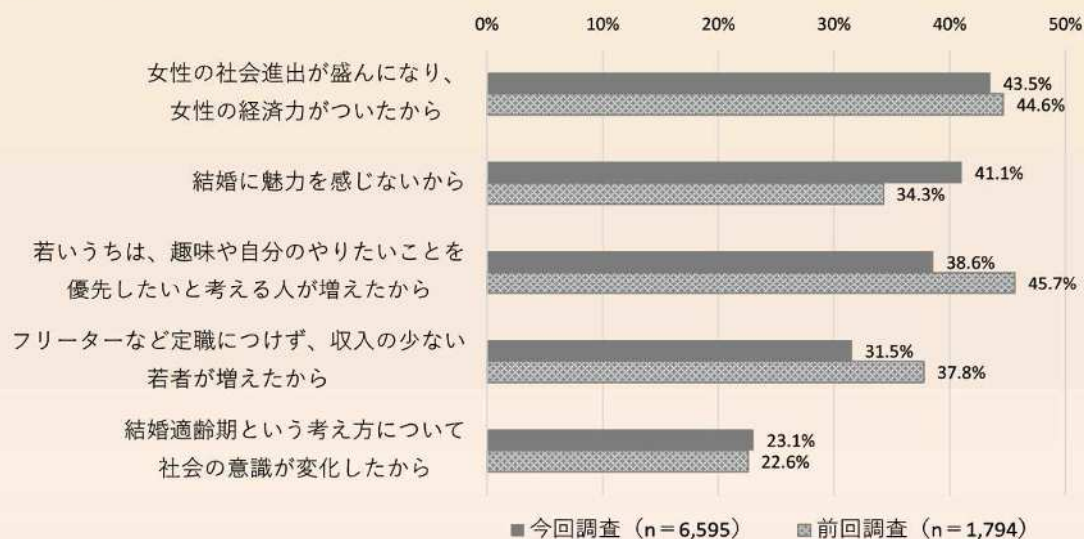
目 標 項 目	現状 (H30 年度)	調査結果 (R5 年度)
いずれは、結婚しようとする未婚者（40 代まで）の割合	68.5%	56.3%
予定している子どもの数が 2 人以上と答える人の割合	74.7%	80.8%
子育てがしやすくなったと感じる人の割合	20.8%	25.6%
仕事と家庭の両立がしやすくなったと考える人の割合	15.4%	24.4%

(3) その他の主な調査結果

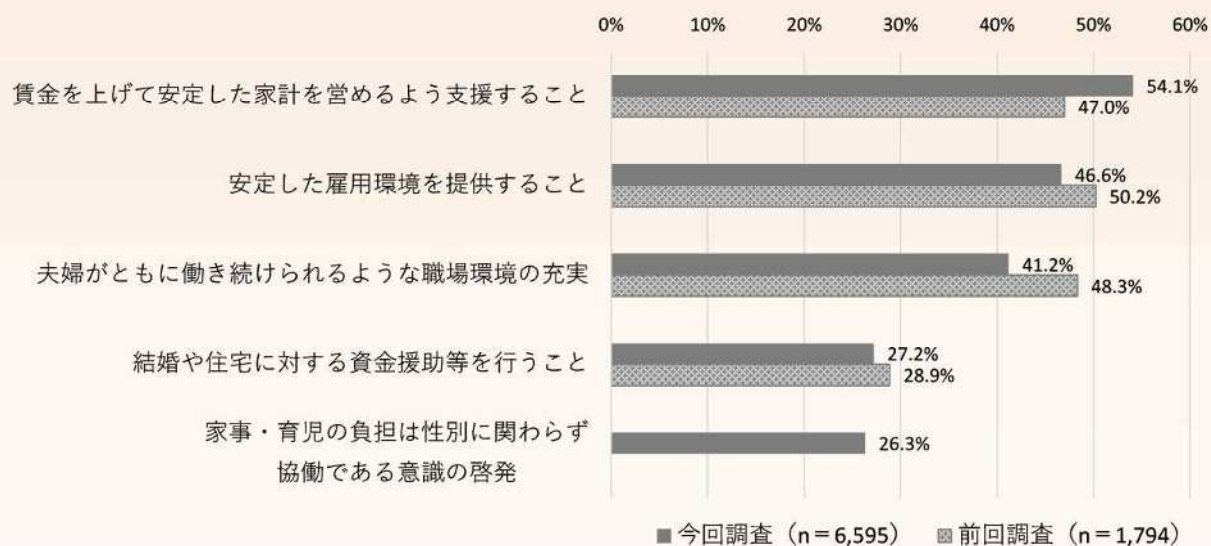
ア 独身でいる理由（複数回答）



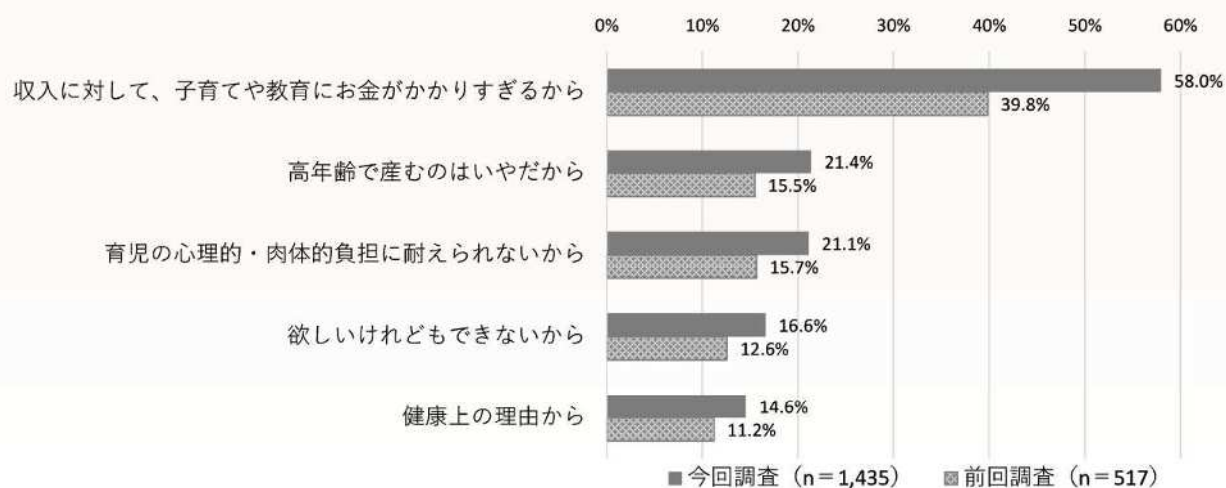
イ 未婚化・晩婚化が進んでいる原因（複数回答）



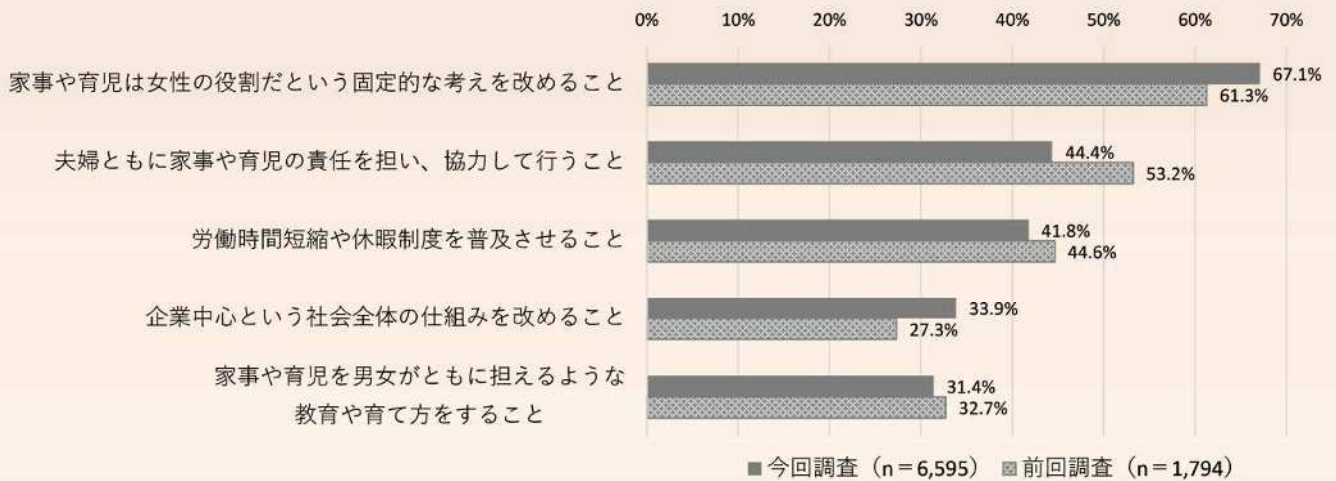
ウ 結婚を希望する人への支援策として重要な施策（複数回答）



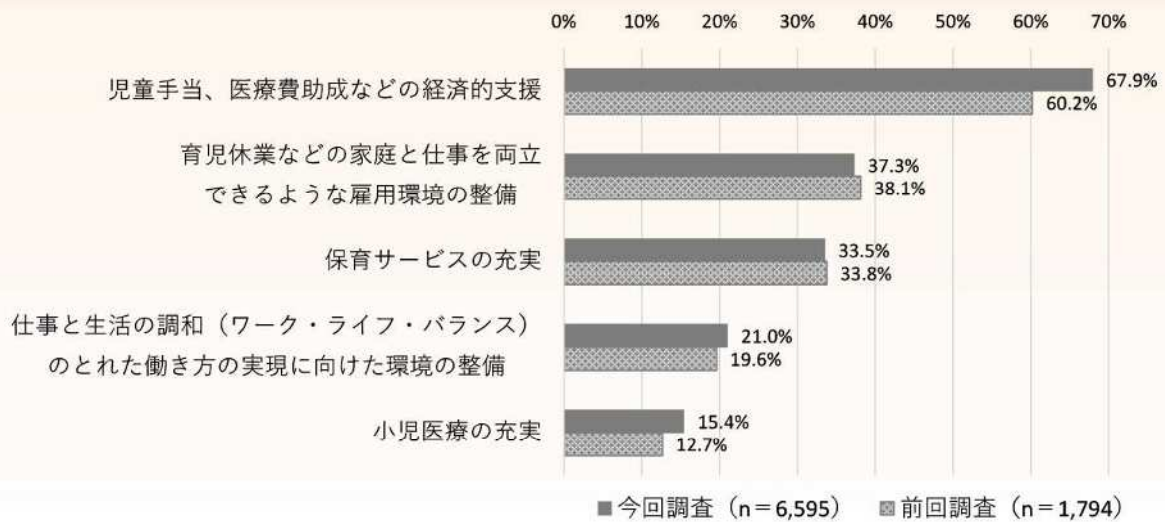
エ 実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由（複数回答）



オ 男性が女性とともに積極的に子育てをしていくために必要なこと（複数回答）



カ 子どもを健やかに産み育てるために、国、県、市町村に期待すること（複数回答）



Ⅱ 県内企業を対象とした調査

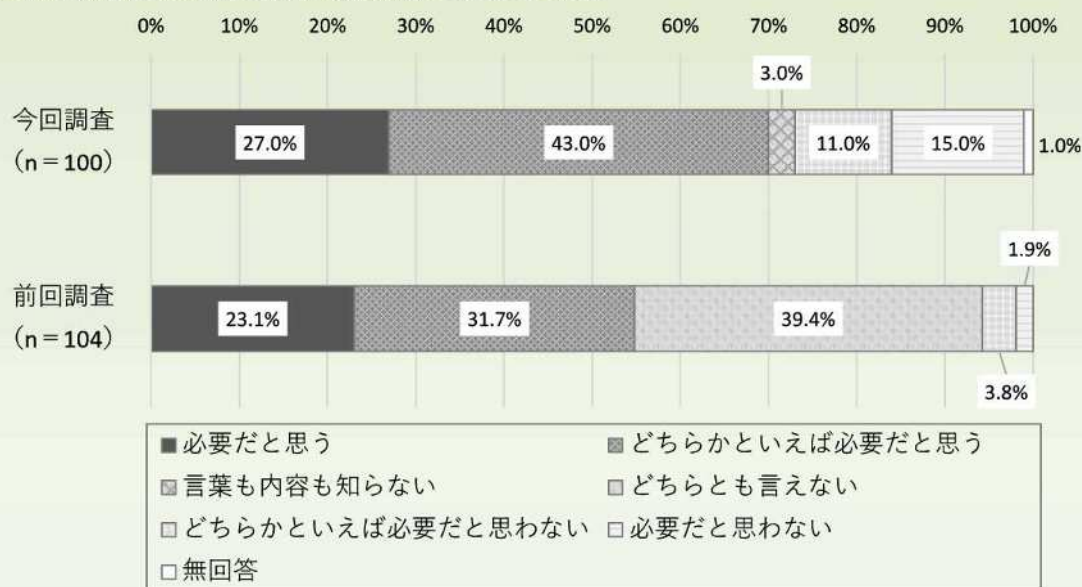
(1) 調査の概要

- ア 調査期日 令和5年11月下旬から12月上旬に実施
- イ 調査対象企業 鹿児島県内の一般企業及び子育て応援企業から県が無作為に抽出
- ウ 調査方法 郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収
- エ 調査数 200社（一般企業100社、子育て応援企業100社）
- オ 回答数 100件（50.0%）
- カ 回答企業の従業員規模の割合

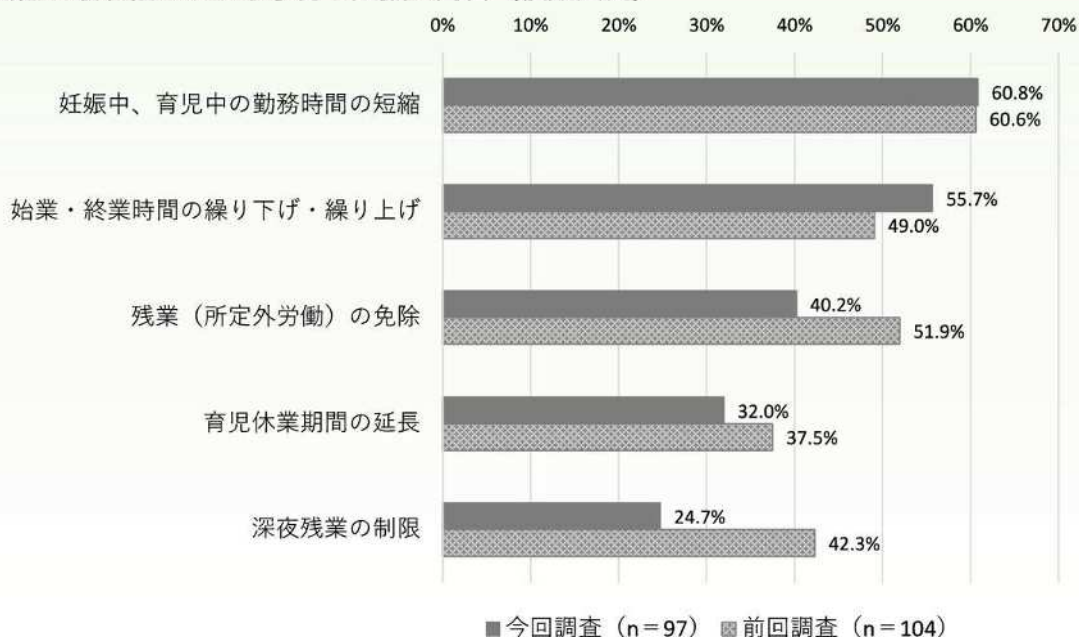
	10人未満	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
今回調査（令和5年度）	12.0%	9.0%	10.0%	15.0%	22.0%	29.0%

(2) その他の主な調査結果

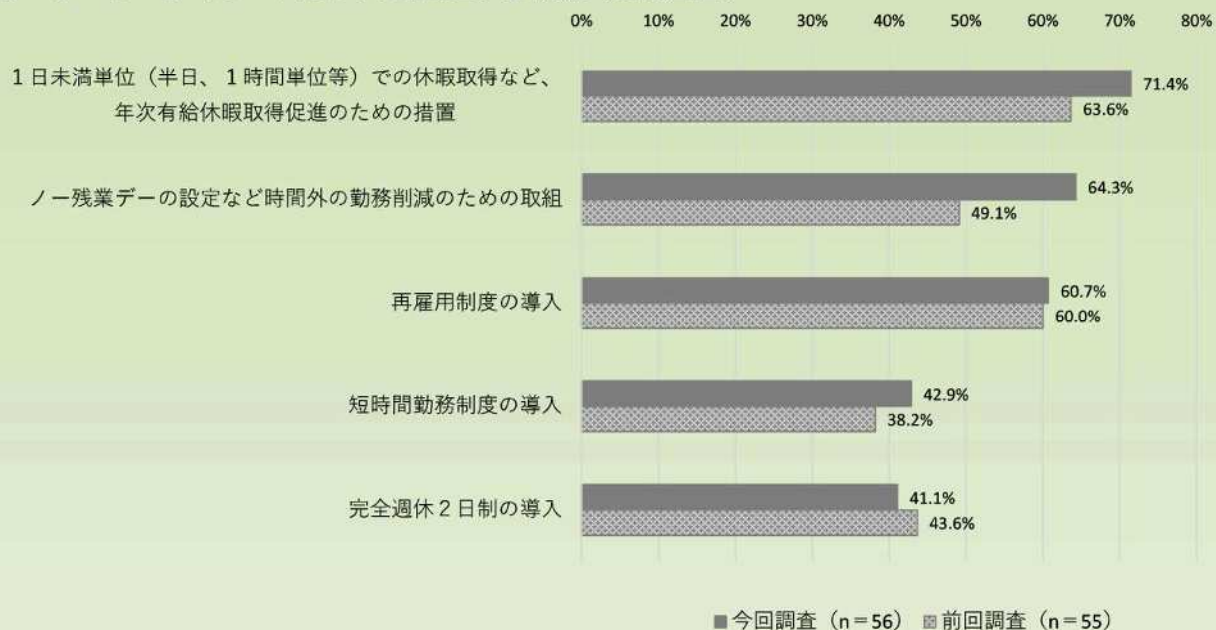
ア 企業が従業員の結婚支援に取り組むことについて



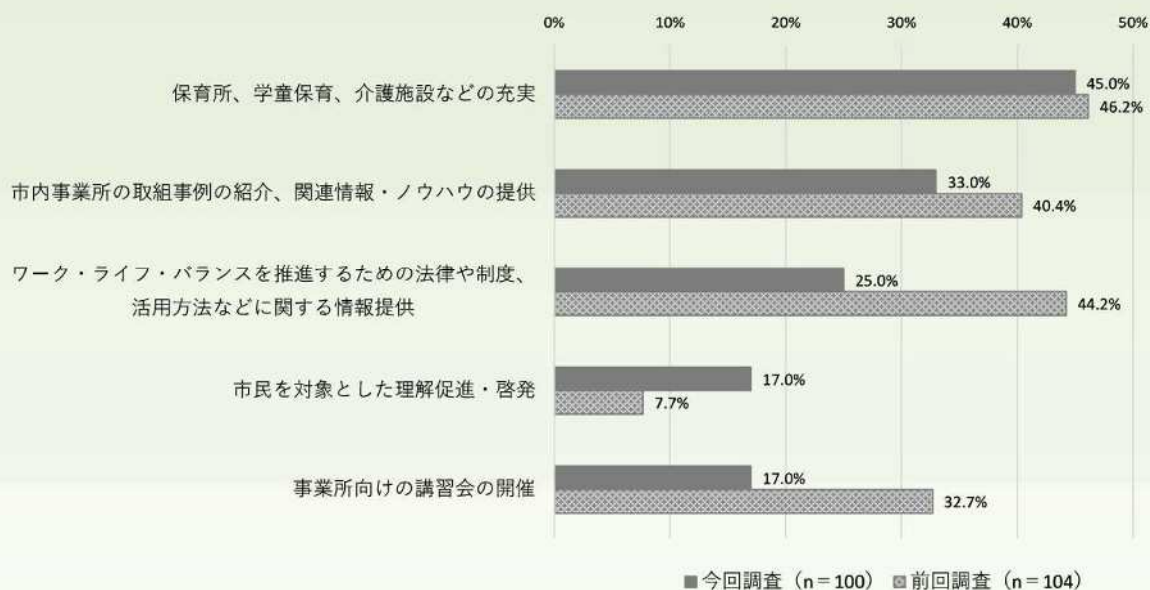
イ 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容（複数回答）



ウ ワーク・ライフ・バランスを推進する取組（複数回答）



エ ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政に希望すること（複数回答）



4. 仕事と育児の両立について

**問 46 あなたは、子育て支援のために、企業に整備してほしい制度は何だと思いますか。
なお、現在働いていない方も働いていると想定してお答えください。(〇は3つまで)**

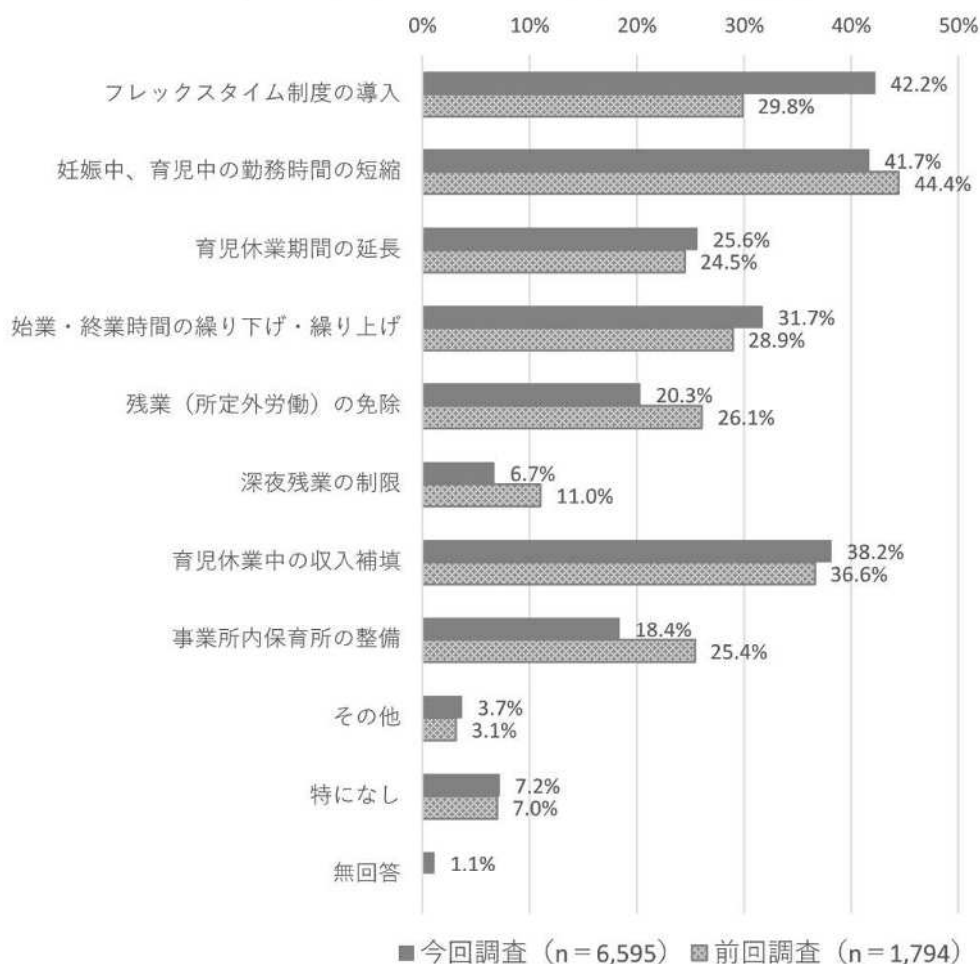
子育て支援のため企業に整備してほしい制度について、「フレックスタイム制度の導入」が42.2%で最も多く、次いで「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」(41.7%)、「育児休業中の収入補填」(38.2%)となっている。

性別でみると、男性は「フレックスタイム制度の導入」、女性は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」がそれぞれ最も多くなっている。

年齢別でみると、30歳代以下は「育児休業中の収入補填」、40歳代～50歳代は「フレックスタイム制度の導入」、60歳代以上は「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「フレックスタイム制度の導入」が12.4ポイント増加している。

【子育て支援のため企業に整備してほしい制度】



		サ ン プ ル 数	制 度 の 導 入	勤 務 時 間 の 短 縮	妊 娠 中 、 育 児 中 の	長 育 児 休 業 期 間 の 延	げ 繰 り 下 げ ・ 繰 り 上 の	始 業 ・ 終 業 時 間 上 の	働 業 （ の 免 除 所 定 外 労	残 業 の 制 限	深 夜 残 業 の 制 限	補 育 児 休 業 中 の 収 入	整 備 所 内 保 育 所 の	事 業 所 の 他	そ の 他	特 に な し	無 回 答
上段：度数 下段：%																	
今回調査		6,595 100.0	2,784 42.2	2,747 41.7	1,691 25.6	2,092 31.7	1,340 20.3	443 6.7	2,517 38.2	1,211 18.4	243 3.7	474 7.2	74 1.1				
前回調査		1,794 100.0	535 29.8	797 44.4	439 24.5	519 28.9	468 26.1	198 11.0	657 36.6	456 25.4	56 3.1	125 7.0	— —				
性 別	男性	2,514 100.0	1,131 45.0	891 35.4	686 27.3	734 29.2	468 18.6	185 7.4	967 38.5	360 14.3	94 3.7	216 8.6	32 1.3				
	女性	4,059 100.0	1,645 40.5	1,848 45.5	998 24.6	1,352 33.3	870 21.4	256 6.3	1,543 38.0	849 20.9	148 3.6	255 6.3	40 1.0				
	その他	17 100.0	7 41.2	7 41.2	7 41.2	5 29.4	1 5.9	1 5.9	6 35.3	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9				
年 齢	10歳代	31 100.0	8 25.8	11 35.5	12 38.7	6 19.4	4 12.9	4 12.9	16 51.6	5 16.1	2 6.5	1 3.2	1 3.2				
	20歳代	676 100.0	239 35.4	322 47.6	218 32.2	167 24.7	125 18.5	31 4.6	384 56.8	111 16.4	22 3.3	37 5.5	6 0.9				
	30歳代	1,531 100.0	607 39.6	647 42.3	404 26.4	492 32.1	293 19.1	92 6.0	704 46.0	295 19.3	73 4.8	96 6.3	12 0.8				
	40歳代	1,819 100.0	769 42.3	626 34.4	325 17.9	657 36.1	348 19.1	136 7.5	551 30.3	318 17.5	100 5.5	183 10.1	22 1.2				
	50歳代	1,296 100.0	598 46.1	537 41.4	302 23.3	404 31.2	280 21.6	85 6.6	439 33.9	252 19.4	32 2.5	92 7.1	19 1.5				
	60歳代	953 100.0	438 46.0	467 49.0	330 34.6	274 28.8	223 23.4	70 7.3	329 34.5	183 19.2	13 1.4	49 5.1	9 0.9				
	70歳代以上	267 100.0	117 43.8	131 49.1	97 36.3	86 32.2	64 24.0	23 8.6	81 30.3	45 16.9	1 0.4	14 5.2	4 1.5				
	地 域 別	鹿児島地域	3,934 100.0	1,747 44.4	1,632 41.5	1,054 26.8	1,248 31.7	817 20.8	245 6.2	1,459 37.1	758 19.3	140 3.6	266 6.8	36 0.9			
南薩地域		383 100.0	144 37.6	157 41.0	86 22.5	117 30.5	84 21.9	27 7.0	151 39.4	72 18.8	12 3.1	34 8.9	5 1.3				
北薩地域		512 100.0	197 38.5	199 38.9	121 23.6	160 31.3	105 20.5	31 6.1	201 39.3	93 18.2	13 2.5	50 9.8	8 1.6				
姶良・伊佐地域		829 100.0	334 40.3	367 44.3	221 26.7	251 30.3	159 19.2	69 8.3	332 40.0	138 16.6	32 3.9	55 6.6	8 1.0				
大隅地域		614 100.0	226 36.8	262 42.7	144 23.5	217 35.3	121 19.7	46 7.5	247 40.2	87 14.2	21 3.4	53 8.6	9 1.5				
熊毛地域		99 100.0	42 42.4	38 38.4	21 21.2	27 27.3	20 20.2	7 7.1	37 37.4	19 19.2	5 5.1	5 5.1	4 4.0				
大島地域		176 100.0	72 40.9	80 45.5	34 19.3	60 34.1	27 15.3	14 8.0	76 43.2	36 20.5	17 9.7	7 4.0	2 1.1				

問 47 あなたは、鹿児島県における男性の育児への関わり方について、どんな印象がありますか。(〇はひとつ)

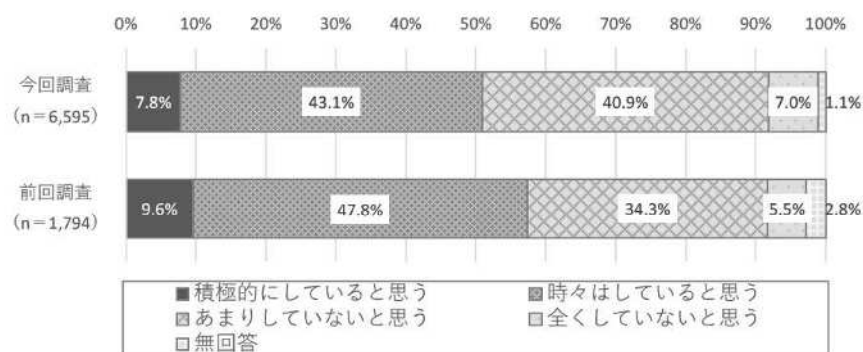
鹿児島県における男性の育児への関わり方について、「時々はしていると思う」が43.1%で最も多く、次いで「あまりしていないと思う」(40.9%)、「積極的にしていると思う」(7.8%)となっている。

『育児に関わっている』(「積極的にしていると思う」と「時々はしていると思う」の合計)は50.9%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「時々はしていると思う」が最も多くなっている。

年代別でみると、40歳代以下、60歳代は「時々はしていると思う」、50歳代、70歳代以上は「あまりしていないと思う」がそれぞれ最も多くなっている。

【鹿児島県における男性の育児への関わり方】



		サンプル数	積極的にしている	時々はしている	あまりしていない	全くしていない	無回答
上段：度数							
下段：%							
今回調査		6,595	516	2,843	2,700	462	74
前回調査		1,794	172	858	616	98	50
性別							
性別	男性	2,514	233	1,080	995	173	33
	女性	4,059	282	1,756	1,695	287	39
	その他	17	1	6	8	1	1
年齢							
年齢	10歳代	31	1	19	9	1	1
	20歳代	676	3.2	61.3	29.0	3.2	3.2
	30歳代	1,531	136	627	614	139	15
	40歳代	1,819	135	774	740	146	24
	50歳代	1,296	99	559	563	57	18
	60歳代	953	64	427	407	48	7
	70歳代以上	267	12	112	130	11	2
		100.0	4.5	41.9	48.7	4.1	0.7
地域別							
地域別	鹿児島地域	3,934	277	1,677	1,649	296	35
	南薩地域	383	31	176	147	22	7
	北薩地域	512	45	221	210	29	7
	姶良・伊佐地域	829	82	357	322	59	9
	大隅地域	614	48	270	252	38	6
	熊毛地域	99	10	42	38	5	4
	大島地域	176	20	83	62	7	4
		100.0	11.4	47.2	35.2	4.0	2.3

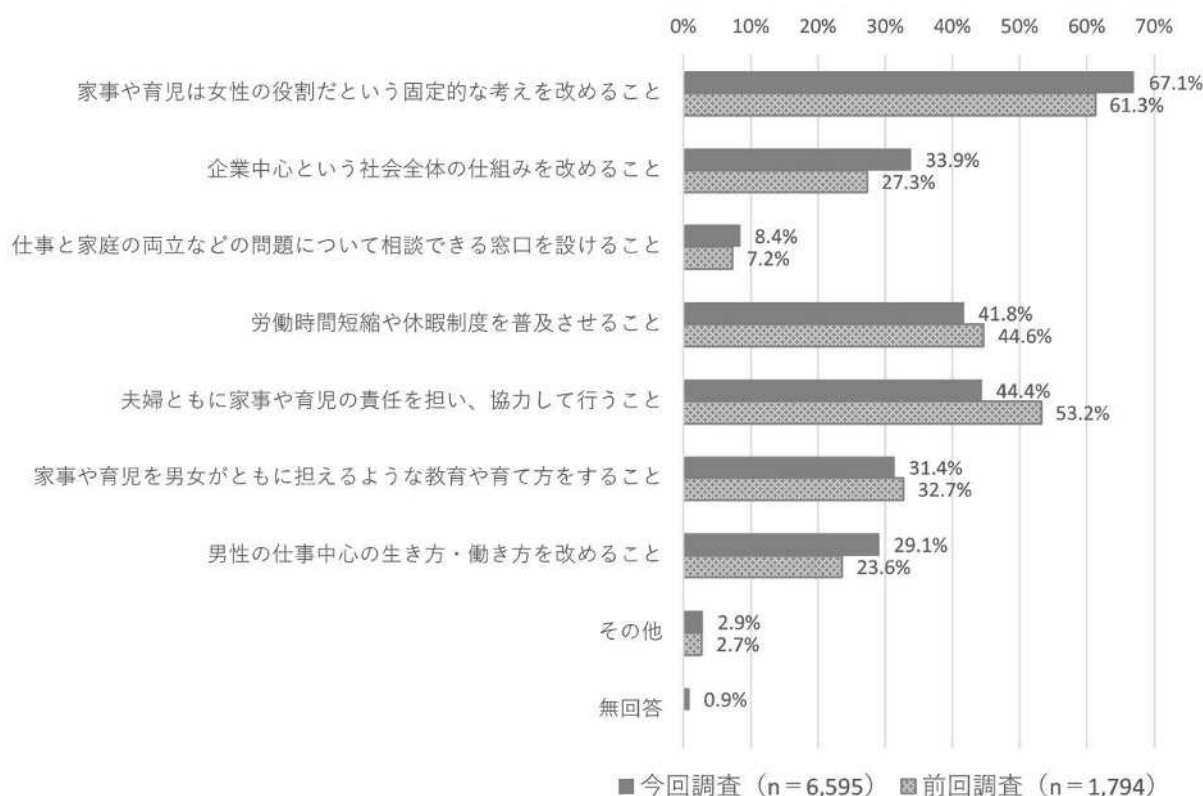
問 48 あなたは、男性が女性とともに積極的に子育てをしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男性が積極的に子育てするために必要な点について、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が 67.1%で最も多く、次いで「夫婦ともに家事や育児の責任を担い、協力して行うこと」(44.4%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」(41.8%)となっている。

性別、年代別問わず「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が最も多くなっており、年代別では年代が上がるにつれて増加している。

前回調査と比較すると、「企業中心という社会全体の仕組みを改めること」が 6.6 ポイント、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考えを改めること」が 5.8 ポイント、「男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること」が 5.5 ポイント増加している。

【男性が積極的に子育てするために必要な点】



		サ ン プ ル 数	改 め る こ と	だ と い う こ と	家 事 や 育 児 に 関 する こ と	の 仕 組 み を 改 め る こ と	企 業 中 心 と い う 社 会 全 体	窓 口 を 設 け て こ と	問 題 を に お き て こ と	仕 事 と 家 庭 の 両 立 な ど の こ と	を 普 及 さ せ る こ と	労 働 時 間 短 縮 や 休 暇 制 度	責 任 を 担 い 、 協 力 し て 行 う	夫 婦 と も に 家 事 や 育 児 の こ と	に 関 する こ と	家 事 や 育 児 を 男 女 が と も に 担 い る こ と	方 ・ 男 性 の 仕 事 中 心 の 生 き か た を 改 め る こ と	そ の 他	無 回 答	
上段：度数 下段：%																				
今回調査		6,595 100.0	4,423 67.1	2,233 33.9	557 8.4	2,754 41.8	2,927 44.4	2,070 31.4	1,922 29.1	192 2.9	61 0.9									
前回調査		1,794 100.0	1,099 61.3	490 27.3	130 7.2	801 44.6	955 53.2	587 32.7	424 23.6	49 2.7	— —									
性 別	男性	2,514 100.0	1,483 59.0	989 39.3	267 10.6	1,102 43.8	1,009 40.1	584 23.2	750 29.8	93 3.7	30 1.2									
	女性	4,059 100.0	2,927 72.1	1,237 30.5	287 7.1	1,644 40.5	1,912 47.1	1,482 36.5	1,167 28.8	99 2.4	29 0.7									
	その他	17 100.0	11 64.7	7 41.2	2 11.8	7 41.2	5 29.4	3 17.6	5 29.4	0 0.0	1 5.9									
年 齢	10歳代	31 100.0	19 61.3	8 25.8	5 16.1	7 22.6	15 48.4	9 29.0	9 29.0	1 3.2	1 3.2									
	20歳代	676 100.0	422 62.4	185 27.4	57 8.4	354 52.4	328 48.5	218 32.2	176 26.0	18 2.7	4 0.6									
	30歳代	1,531 100.0	972 63.5	567 37.0	100 6.5	733 47.9	654 42.7	522 34.1	491 32.1	60 3.9	10 0.7									
	40歳代	1,819 100.0	1,231 67.7	609 33.5	140 7.7	679 37.3	779 42.8	606 33.3	560 30.8	56 3.1	18 1.0									
	50歳代	1,296 100.0	874 67.4	434 33.5	113 8.7	494 38.1	580 44.8	398 30.7	352 27.2	42 3.2	19 1.5									
	60歳代	953 100.0	696 73.0	343 36.0	112 11.8	372 39.0	440 46.2	235 24.7	250 26.2	13 1.4	6 0.6									
	70歳代以上	267 100.0	197 73.8	82 30.7	29 10.9	107 40.1	120 44.9	76 28.5	80 30.0	2 0.7	1 0.4									
地 域 別	鹿児島地域	3,934 100.0	2,640 67.1	1,398 35.5	335 8.5	1,644 41.8	1,714 43.6	1,211 30.8	1,135 28.9	118 3.0	30 0.8									
	南薩地域	383 100.0	270 70.5	102 26.6	35 9.1	143 37.3	176 46.0	116 30.3	115 30.0	13 3.4	4 1.0									
	北薩地域	512 100.0	334 65.2	171 33.4	55 10.7	210 41.0	250 48.8	152 29.7	148 28.9	11 2.1	6 1.2									
	姶良・伊佐地域	829 100.0	561 67.7	272 32.8	60 7.2	359 43.3	353 42.6	259 31.2	261 31.5	26 3.1	6 0.7									
	大隅地域	614 100.0	412 67.1	193 31.4	52 8.5	264 43.0	273 44.5	209 34.0	176 28.7	15 2.4	6 1.0									
	熊毛地域	99 100.0	66 66.7	31 31.3	10 10.1	38 38.4	48 48.5	39 39.4	19 19.2	1 1.0	5 5.1									
	大島地域	176 100.0	113 64.2	51 29.0	7 4.0	77 43.8	89 50.6	70 39.8	56 31.8	7 4.0	2 1.1									

問 49 あなたは、男性の育児休業制度を知っていますか。(〇はひとつ)

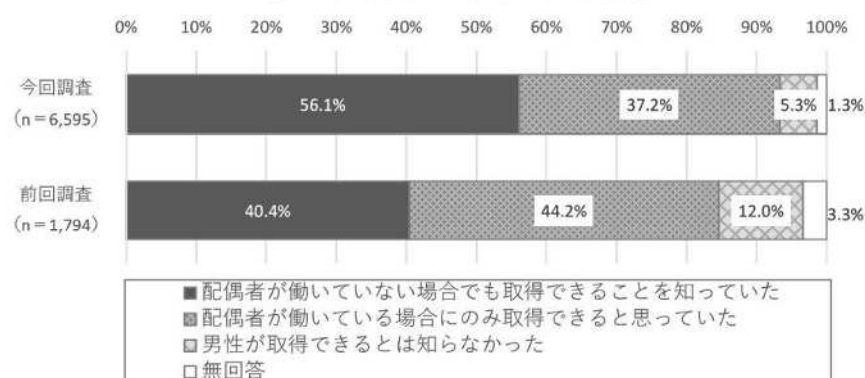
男性の育児休業制度の認知度について、「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が56.1%、「配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた」が37.2%、「男性が取得できるとは知らなかった」が5.3%となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が最も多くなっている。

年齢別でみると、10歳代は「配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた」、20歳代以上は「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「配偶者が働いていない場合でも取得できることを知っていた」が15.7ポイント増加している。

【男性の育児休業制度の認知度】



		サンプル数	知っている 配偶者が働いていない場合でも取得できる	配偶者が働いている場合にのみ取得できると思っていた	男性が取得できるとは知らなかった	無回答
上段：度数						
下段：%						
今回調査		6,595	3,700	2,455	352	88
		100.0	56.1	37.2	5.3	1.3
前回調査		1,794	725	793	216	60
		100.0	40.4	44.2	12.0	3.3
性別	男性	2,514	1,591	699	182	42
		100.0	63.3	27.8	7.2	1.7
	女性	4,059	2,102	1,747	166	44
		100.0	51.8	43.0	4.1	1.1
その他		17	7	8	1	1
		100.0	41.2	47.1	5.9	5.9
年齢	10歳代	31	12	14	4	1
		100.0	38.7	45.2	12.9	3.2
	20歳代	676	351	273	46	6
		100.0	51.9	40.4	6.8	0.9
	30歳代	1,531	863	573	79	16
		100.0	56.4	37.4	5.2	1.0
	40歳代	1,819	990	709	94	26
		100.0	54.4	39.0	5.2	1.4
50歳代		1,296	766	459	49	22
		100.0	59.1	35.4	3.8	1.7
60歳代		953	577	307	56	13
		100.0	60.5	32.2	5.9	1.4
70歳代以上		267	135	110	20	2
		100.0	50.6	41.2	7.5	0.7
地域別	鹿児島地域	3,934	2,220	1,448	222	44
		100.0	56.4	36.8	5.6	1.1
	南薩地域	383	194	163	21	5
		100.0	50.7	42.6	5.5	1.3
	北薩地域	512	278	194	30	10
		100.0	54.3	37.9	5.9	2.0
	姶良・伊佐地域	829	475	312	29	13
		100.0	57.3	37.6	3.5	1.6
大隅地域		614	356	221	31	6
		100.0	58.0	36.0	5.0	1.0
熊本地域		99	52	39	4	4
		100.0	52.5	39.4	4.0	4.0
大島地域		176	101	63	9	3
		100.0	57.4	35.8	5.1	1.7

問 50 あなたは、男性が育児休業制度を利用することをどう思いますか。(〇はひとつ)

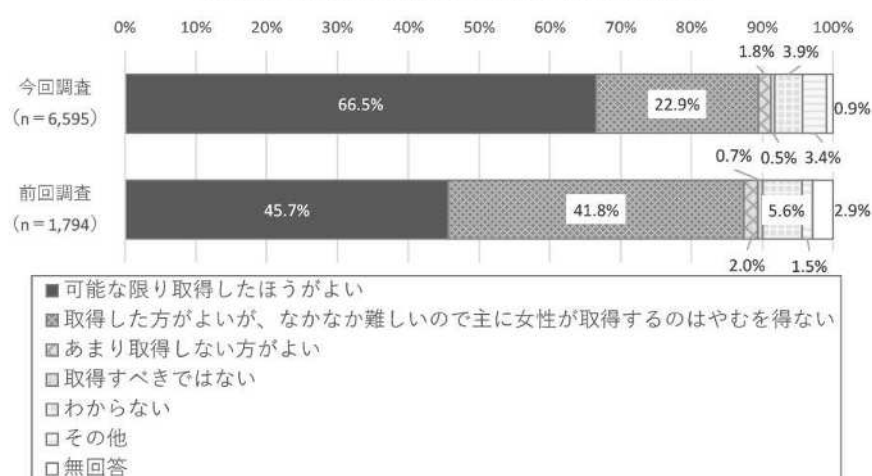
男性の育児休業制度の利用に対する意向について、「可能な限り取得したほうがよい」が66.5%で最も多く、次いで「取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない」(22.9%)となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「可能な限り取得したほうがよい」が最も多くなっている。

年齢別でみると、「可能な限り取得したほうがよい」は10歳代で約8割、20歳代～30歳代、50歳代以上で約7割、40歳代で約6割を占めている。

前回調査と比較すると、「可能な限り取得したほうがよい」が20.8ポイント増加し、「取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない」は18.9ポイント減少している。

【男性の育児休業制度の利用に対する意向】



上段：度数 下段：%		サンプル数	可能な限り取得し	取得した方がよいが、なかなか難しいので主に女性が取得するのはやむを得ない	取得した方がよい	あまり取得しない方がよい	取得すべきではない	わからない	その他	無回答
今回調査		6,595	4,388	1,512	117	34	259	226	61	
		100.0	66.5	22.9	1.8	0.5	3.9	3.4	0.9	
前回調査		1,794	819	749	35	12	100	27	52	
		100.0	45.7	41.8	2.0	0.7	5.6	1.5	2.9	
性別	男性	2,514	1,624	631	47	19	97	67	29	
		100.0	64.6	25.1	1.9	0.8	3.9	2.7	1.2	
	女性	4,059	2,745	879	70	15	161	159	30	
		100.0	67.6	21.7	1.7	0.4	4.0	3.9	0.7	
年齢	その他	17	15	1	0	0	0	0	1	
		100.0	88.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	
	10歳代	31	25	2	0	1	2	0	1	
		100.0	80.6	6.5	0.0	3.2	6.5	0.0	3.2	
年齢	20歳代	676	491	125	7	6	23	19	5	
		100.0	72.6	18.5	1.0	0.9	3.4	2.8	0.7	
	30歳代	1,531	1,028	327	23	6	64	73	10	
		100.0	67.1	21.4	1.5	0.4	4.2	4.8	0.7	
	40歳代	1,819	1,113	460	47	12	92	79	16	
		100.0	61.2	25.3	2.6	0.7	5.1	4.3	0.9	
	50歳代	1,296	873	290	24	7	46	36	20	
		100.0	67.4	22.4	1.9	0.5	3.5	2.8	1.5	
地域別	60歳代	953	662	233	9	2	22	18	7	
		100.0	69.5	24.4	0.9	0.2	2.3	1.9	0.7	
	70歳代以上	267	181	70	7	0	7	1	1	
		100.0	67.8	26.2	2.6	0.0	2.6	0.4	0.4	
	鹿児島地域	3,934	2,670	865	69	19	146	132	33	
		100.0	67.9	22.0	1.8	0.5	3.7	3.4	0.8	
	南薩地域	383	245	93	8	2	19	13	3	
		100.0	64.0	24.3	2.1	0.5	5.0	3.4	0.8	
地域別	北薩地域	512	342	118	10	2	18	16	6	
		100.0	66.8	23.0	2.0	0.4	3.5	3.1	1.2	
	姶良・伊佐地域	829	536	212	14	5	34	22	6	
		100.0	64.7	25.6	1.7	0.6	4.1	2.7	0.7	
	大隅地域	614	376	159	11	3	30	29	6	
		100.0	61.2	25.9	1.8	0.5	4.9	4.7	1.0	
	熊本地域	99	65	24	0	0	3	4	3	
		100.0	65.7	24.2	0.0	0.0	3.0	4.0	3.0	
地域別	大島地域	176	116	37	5	3	5	8	2	
		100.0	65.9	21.0	2.8	1.7	2.8	4.5	1.1	

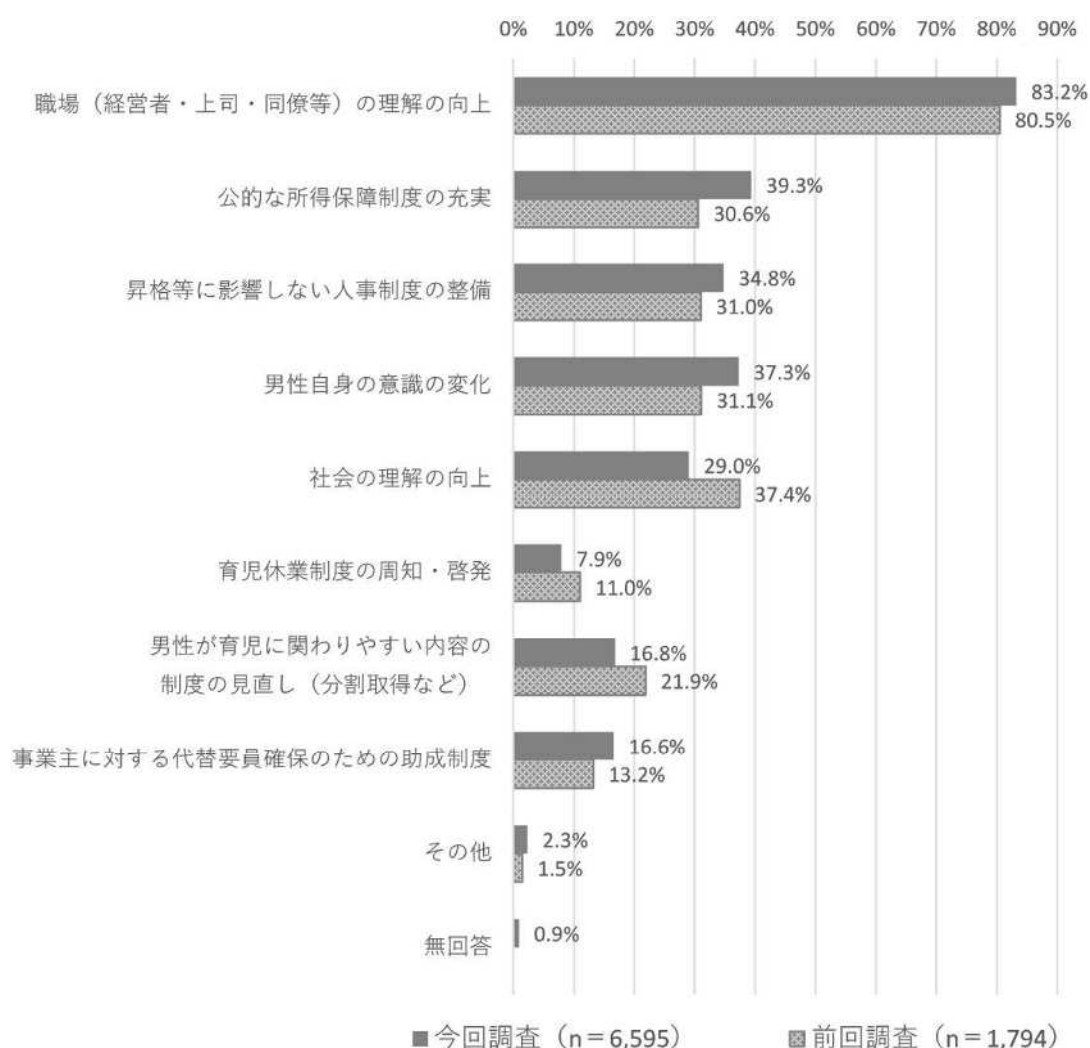
問 51 あなたは、男性の育児休業の取得を促進するには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男性の育児休業取得促進に向けて必要な点について、「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が83.2%で最も多く、次いで「公的な所得保障制度の充実」（39.3%）、「男性自身の意識の変化」（37.3%）となっている。

性別、年齢別問わず「職場（経営者・上司・同僚等）の理解の向上」が大半を占めている。

前回調査と比較すると、「公的な所得保障制度の充実」が8.7ポイント、「男性自身の意識の変化」が6.2ポイントそれぞれ増加した一方、「社会の理解の向上」は8.4ポイント、「男性が育児に関わりやすい内容の制度の見直し（分割取得など）」は5.1ポイント減少している。

【男性の育児休業取得促進に向けて必要な点】



		サ ン プ ル 数	僚 職 等 場 (の 経 理 営 者 ・ 上 司 ・ 同	実 公 的 な 所 得 保 障 制 度 の 充	制 昇 度 格 等 に 影 響 し な い 人 事	男 性 自 身 の 意 識 の 変 化	社 会 の 理 解 の 向 上	発 育 児 休 業 制 度 の 周 知 ・ 啓	(分 割 取 得 な ど) い 男 性 が 育 児 に 関 わ り やす い 内 容 の 制 度 の 見 直 し	確 保 の た め の 助 成 制 度	事 業 主 に 対 す る 代 替 要 員	そ の 他	無 回 答
上段：度数 下段：％													
今回調査		6,595 100.0	5,485 83.2	2,594 39.3	2,295 34.8	2,459 37.3	1,914 29.0	523 7.9	1,107 16.8	1,093 16.6	154 2.3	62 0.9	
前回調査		1,794 100.0	1,444 80.5	549 30.6	557 31.0	558 31.1	671 37.4	198 11.0	393 21.9	237 13.2	27 1.5	— —	
性 別	男性	2,514 100.0	2,063 82.1	1,070 42.6	835 33.2	764 30.4	742 29.5	192 7.6	389 15.5	429 17.1	75 3.0	28 1.1	
	女性	4,059 100.0	3,408 84.0	1,519 37.4	1,450 35.7	1,687 41.6	1,166 28.7	331 8.2	716 17.6	659 16.2	77 1.9	32 0.8	
	その他	17 100.0	12 70.6	4 23.5	9 52.9	6 35.3	5 29.4	0 0.0	2 11.8	3 17.6	2 11.8	1 5.9	
年 齢	10歳代	31 100.0	23 74.2	6 19.4	10 32.3	11 35.5	11 35.5	4 12.9	7 22.6	3 9.7	0 0.0	2 6.5	
	20歳代	676 100.0	562 83.1	249 36.8	260 38.5	182 26.9	227 33.6	77 11.4	140 20.7	87 12.9	22 3.3	4 0.6	
	30歳代	1,531 100.0	1,274 83.2	651 42.5	623 40.7	530 34.6	437 28.5	123 8.0	265 17.3	274 17.9	34 2.2	13 0.8	
	40歳代	1,819 100.0	1,504 82.7	707 38.9	640 35.2	718 39.5	504 27.7	121 6.7	274 15.1	313 17.2	50 2.7	17 0.9	
	50歳代	1,296 100.0	1,056 81.5	472 36.4	370 28.5	516 39.8	384 29.6	90 6.9	237 18.3	245 18.9	32 2.5	18 1.4	
	60歳代	953 100.0	826 86.7	396 41.6	294 30.8	368 38.6	274 28.8	88 9.2	128 13.4	132 13.9	12 1.3	6 0.6	
	70歳代以上	267 100.0	223 83.5	105 39.3	91 34.1	128 47.9	69 25.8	19 7.1	51 19.1	36 13.5	4 1.5	1 0.4	
地 域 別	鹿児島地域	3,934 100.0	3,298 83.8	1,566 39.8	1,411 35.9	1,493 38.0	1,125 28.6	305 7.8	646 16.4	652 16.6	82 2.1	30 0.8	
	南薩地域	383 100.0	310 80.9	140 36.6	105 27.4	146 38.1	103 26.9	32 8.4	63 16.4	58 15.1	12 3.1	4 1.0	
	北薩地域	512 100.0	427 83.4	194 37.9	168 32.8	188 36.7	167 32.6	32 6.3	91 17.8	89 17.4	9 1.8	7 1.4	
	始良・伊佐地域	829 100.0	682 82.3	334 40.3	296 35.7	293 35.3	229 27.6	66 8.0	148 17.9	136 16.4	20 2.4	8 1.0	
	大隅地域	614 100.0	506 82.4	241 39.3	211 34.4	230 37.5	186 30.3	59 9.6	95 15.5	100 16.3	21 3.4	6 1.0	
	熊毛地域	99 100.0	82 82.8	31 31.3	38 38.4	29 29.3	36 36.4	9 9.1	16 16.2	15 15.2	1 1.0	4 4.0	
	大島地域	176 100.0	147 83.5	69 39.2	49 27.8	69 39.2	56 31.8	16 9.1	38 21.6	35 19.9	7 4.0	1 0.6	

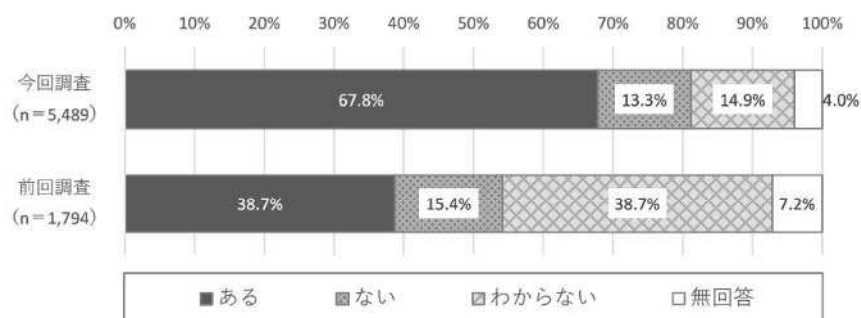
問 52 あなたのお勤めの会社には育児休業制度の規定がありますか。(〇はひとつ)

【回答者：問 7 で「学生」「仕事をしていない」以外を回答した方】

育児休業制度の規定の有無について、「ある」が 67.8%、「ない」が 13.3%、「わからない」が 14.9% となっている。

前回調査と比較すると、「ある」が 29.1 ポイント増加し、「わからない」は 23.8 ポイント減少している。

【育児休業制度の規定の有無】



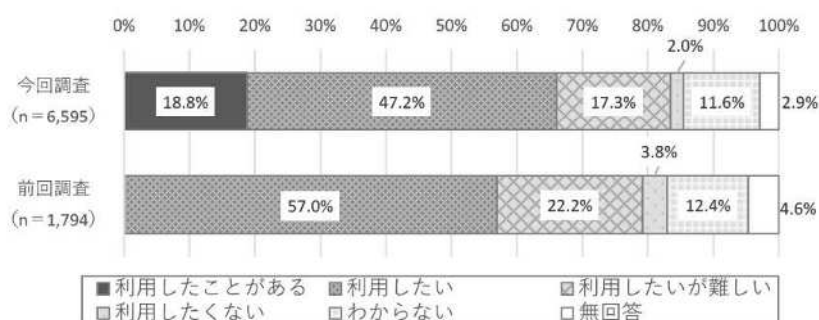
		サ ン プ ル 数	あ る	な い	わ か ら な い	無 回 答
上段：度数 下段：%						
今回調査		5,489	3,722	731	817	219
		100.0	67.8	13.3	14.9	4.0
前回調査		1,794	695	276	694	129
		100.0	38.7	15.4	38.7	7.2
性 別	男性	2,211	1,532	309	283	87
		100.0	69.3	14.0	12.8	3.9
	女性	3,262	2,177	421	533	131
		100.0	66.7	12.9	16.3	4.0
年 齢	その他	14	12	1	0	1
		100.0	85.7	7.1	0.0	7.1
	10歳代	9	5	0	4	0
		100.0	55.6	0.0	44.4	0.0
地 域 別	20歳代	521	406	33	73	9
		100.0	77.9	6.3	14.0	1.7
	30歳代	1,330	967	145	177	41
		100.0	72.7	10.9	13.3	3.1
	40歳代	1,675	1,118	257	267	33
		100.0	66.7	15.3	15.9	2.0
	50歳代	1,158	812	149	169	28
地 域 別		100.0	70.1	12.9	14.6	2.4
	60歳代	679	381	116	116	66
		100.0	56.1	17.1	17.1	9.7
	70歳代以上	103	25	30	8	40
		100.0	24.3	29.1	7.8	38.8
	鹿児島地域	3,233	2,234	395	482	122
		100.0	69.1	12.2	14.9	3.8
	南薩地域	318	194	54	62	8
地 域 別		100.0	61.0	17.0	19.5	2.5
	北薩地域	434	281	72	66	15
		100.0	64.7	16.6	15.2	3.5
	姶良・伊佐地域	696	490	78	95	33
		100.0	70.4	11.2	13.6	4.7
	大隅地域	519	329	88	79	23
		100.0	63.4	17.0	15.2	4.4
	熊毛地域	90	56	18	9	7
地 域 別		100.0	62.2	20.0	10.0	7.8
	大島地域	165	117	22	20	6
		100.0	70.9	13.3	12.1	3.6

問 53 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。現在働いていない人は働いていると想定してお答えください。出産予定がない人は出産すると想定してお答えください。(〇はひとつ)

育児休業制度の利用意向について、「利用したことがある」が 18.8%、「利用したい」が 47.2%、「利用したいが難しい」が 17.3%、「利用したくない」が 2.0%、「わからない」が 11.6%となっている。

性別でみると、「利用したことがある」と回答した女性の割合は、男性を 21.3 ポイント上回っている。

【育児休業制度の利用意向】



		サンプル数	利用したことがある	利用したい	利用したいが難しい	利用したくない	わからない	無回答
上段：度数								
下段：%								
今回調査		6,595	1,242	3,115	1,144	134	768	192
		100.0	18.8	47.2	17.3	2.0	11.6	2.9
前回調査		1,794	—	1,022	399	68	222	83
		100.0	—	57.0	22.2	3.8	12.4	4.6
性別	男性	2,514	144	1,111	726	98	362	73
		100.0	5.7	44.2	28.9	3.9	14.4	2.9
	女性	4,059	1,095	1,995	414	36	402	117
		100.0	27.0	49.2	10.2	0.9	9.9	2.9
その他		17	3	9	3	0	2	0
		100.0	17.6	52.9	17.6	0.0	11.8	0.0
年齢	10歳代	31	0	22	2	0	4	3
		100.0	0.0	71.0	6.5	0.0	12.9	9.7
	20歳代	676	112	414	65	8	57	20
		100.0	16.6	61.2	9.6	1.2	8.4	3.0
	30歳代	1,531	503	600	260	27	98	43
		100.0	32.9	39.2	17.0	1.8	6.4	2.8
	40歳代	1,819	384	770	354	42	221	48
		100.0	21.1	42.3	19.5	2.3	12.1	2.6
地域別	50歳代	1,296	170	646	229	31	179	41
		100.0	13.1	49.8	17.7	2.4	13.8	3.2
	60歳代	953	62	507	179	20	160	25
		100.0	6.5	53.2	18.8	2.1	16.8	2.6
	70歳代以上	287	9	146	53	6	43	10
		100.0	3.4	54.7	19.9	2.2	16.1	3.7
	鹿児島地域	3,934	710	1,896	696	72	455	105
		100.0	18.0	48.2	17.7	1.8	11.6	2.7
地域別	南薩地域	383	58	187	63	8	53	14
		100.0	15.1	48.8	16.4	2.1	13.8	3.7
	北薩地域	512	89	245	99	11	52	16
		100.0	17.4	47.9	19.3	2.1	10.2	3.1
	姶良・伊佐地域	829	166	404	125	15	101	18
		100.0	20.0	48.7	15.1	1.8	12.2	2.2
	大隅地域	614	150	246	107	21	71	19
		100.0	24.4	40.1	17.4	3.4	11.6	3.1
地域別	熊毛地域	99	27	40	16	1	12	3
		100.0	27.3	40.4	16.2	1.0	12.1	3.0
	大島地域	176	38	76	31	4	16	11
		100.0	21.6	43.2	17.6	2.3	9.1	6.3

※今回調査から「利用したことがある」を追加

問 54 あなたが育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）と思う理由は何ですか。（〇は3つまで）

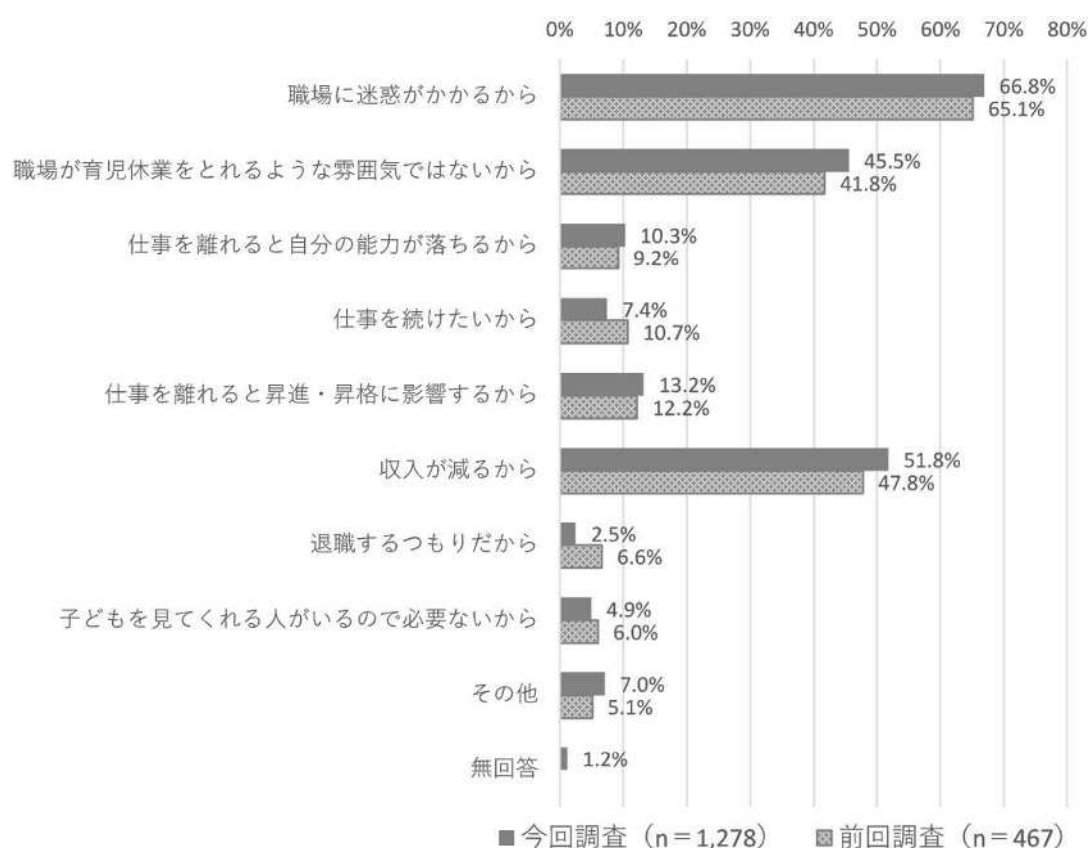
【回答者：問 53 で「利用したいが難しい」「利用したくない」と回答した方】

育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由について、「職場に迷惑がかかるから」が 66.8%で最も多く、次いで「収入が減るから」（51.8%）、「職場が育児休業をとれるような雰囲気ではないから」（45.5%）となっている。

性別でみると、男性、女性いずれも「職場に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。

年齢別でみると、10 歳代で「仕事を続けたいから」、20 歳代で「収入が減るから」、30 歳代以上で「職場に迷惑がかかるから」がそれぞれ最も多くなっている。

【育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由】



上段：度数 下段：%		サ ン プ ル 数	職 場 に 迷 惑 が か か	職 場 が 育 児 休 業 を	分 の 能 力 が 落 ち る	仕 事 を 離 れ と 自	仕 事 を 続 け たい か	進 昇 格 を 離 れ る と 昇	収 入 が 減 る か	退 職 す る つ も り だ	要 な い か ら の で 必	子 ど も を 見 て く れ	そ の 他	無 回 答
今回調査		1,278 100.0	854 66.8	582 45.5	131 10.3	95 7.4	169 13.2	662 51.8	32 2.5	63 4.9	90 7.0	15 1.2		
前回調査		467 100.0	304 65.1	195 41.8	43 9.2	50 10.7	57 12.2	223 47.8	31 6.6	28 6.0	24 5.1	— —		
性 別	男性	824 100.0	578 70.1	363 44.1	84 10.2	63 7.6	124 15.0	440 53.4	6 0.7	48 5.8	46 5.6	9 1.1		
	女性	450 100.0	272 60.4	217 48.2	47 10.4	31 6.9	44 9.8	221 49.1	26 5.8	15 3.3	44 9.8	6 1.3		
	その他	3 100.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
年 齢	10歳代	73 100.0	41 56.2	35 47.9	9 12.3	8 11.0	9 12.3	42 57.5	4 5.5	0 0.0	7 9.6	1 1.4		
	20歳代	287 100.0	178 62.0	142 49.5	31 10.8	19 6.6	32 11.1	169 58.9	15 5.2	13 4.5	30 10.5	2 0.7		
	30歳代	396 100.0	263 66.4	170 42.9	37 9.3	28 7.1	49 12.4	212 53.5	8 2.0	15 3.8	32 8.1	7 1.8		
	40歳代	260 100.0	183 70.4	106 40.8	25 9.6	11 4.2	29 11.2	127 48.8	4 1.5	20 7.7	13 5.0	1 0.4		
	50歳代	199 100.0	143 71.9	96 48.2	23 11.6	20 10.1	34 17.1	91 45.7	0 0.0	12 6.0	6 3.0	3 1.5		
	60歳代	59 100.0	43 72.9	32 54.2	6 10.2	7 11.9	14 23.7	21 35.6	1 1.7	2 3.4	2 3.4	1 1.7		
	70歳代以上	768 100.0	519 67.6	353 46.0	77 10.0	64 8.3	107 13.9	379 49.3	18 2.3	34 4.4	48 6.3	4 0.5		
	鹿児島地域	71 100.0	46 64.8	32 45.1	2 2.8	6 8.5	5 7.0	39 54.9	3 4.2	6 8.5	3 4.2	4 5.6		
地 域 別	南薩地域	110 100.0	76 69.1	49 44.5	19 17.3	10 9.1	15 13.6	63 57.3	2 1.8	7 6.4	12 10.9	1 0.9		
	北薩地域	140 100.0	90 64.3	70 50.0	17 12.1	6 4.3	23 16.4	79 56.4	3 2.1	6 4.3	10 7.1	1 0.7		
	始良・伊佐地域	128 100.0	86 67.2	56 43.8	10 7.8	7 5.5	11 8.6	72 56.3	6 4.7	7 5.5	10 7.8	3 2.3		
	大隅地域	17 100.0	11 64.7	7 41.2	2 11.8	0 0.0	1 5.9	7 41.2	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9		
	熊毛地域	35 100.0	23 65.7	10 28.6	0 0.0	2 5.7	5 14.3	17 48.6	0 0.0	3 8.6	5 14.3	1 2.9		
	大島地域													

問 55 あなたは、育児休業制度を利用後、スムーズに職場復帰できましたか。(○はひとつ)

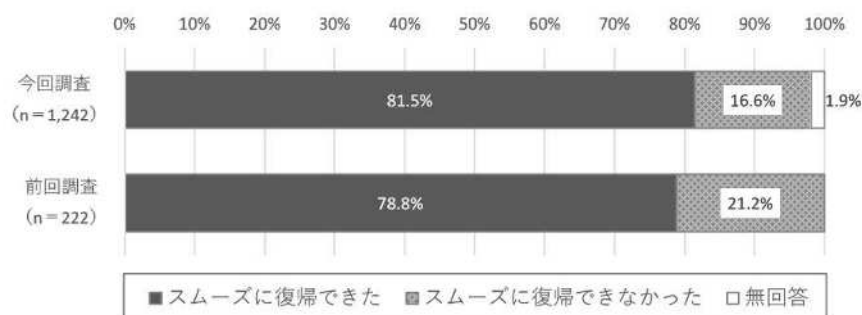
【回答者：問 53 で「利用したことがある」と回答した方】

育児休業制度利用後の職場復帰について、「スムーズに復帰できた」が 81.5%、「スムーズに復帰できなかった」が 16.6%となっている。

性別でみると、「スムーズに復帰できた」は男性で約 9 割、女性で約 8 割となっている。

年齢別でみると、「スムーズに復帰できた」は全ての年代で半数以上を占めている。

【育児休業制度利用後の職場復帰】



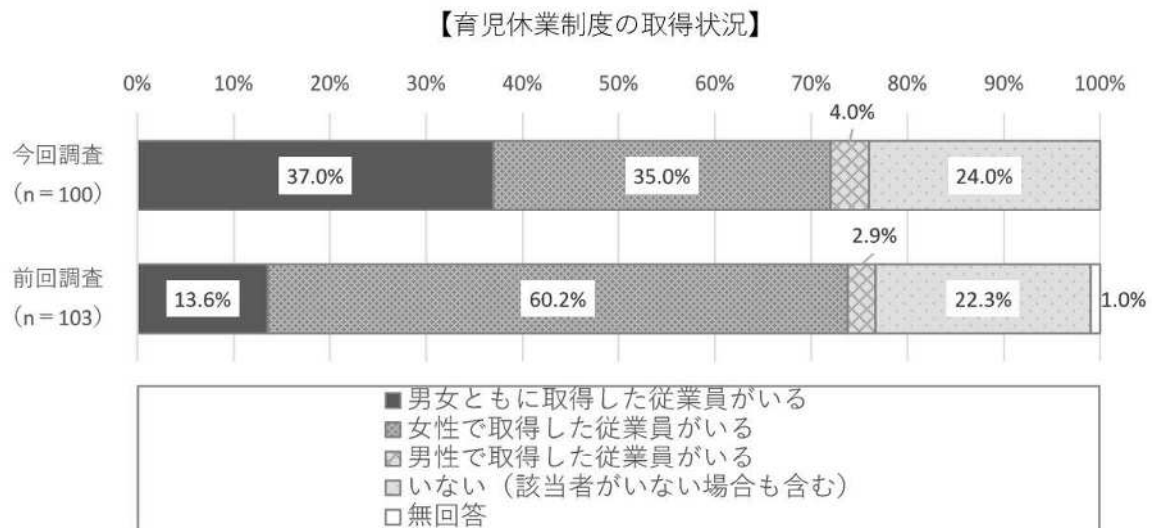
		サンプル数	スムーズに復帰できた	スムーズに復帰できなかった	無回答
上段：度数					
下段：%					
今回調査		1,242	1,012	206	24
		100.0	81.5	16.6	1.9
前回調査		222	175	47	—
		100.0	78.8	21.2	—
性別	男性	144	132	10	2
		100.0	91.7	6.9	1.4
	女性	1,095	877	196	22
		100.0	80.1	17.9	2.0
その他		3	3	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
年齢	10歳代	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	112	74	29	9
		100.0	66.1	25.9	8.0
	30歳代	503	394	101	8
		100.0	78.3	20.1	1.6
	40歳代	384	328	52	4
		100.0	85.4	13.5	1.0
地域別	50歳代	170	153	15	2
		100.0	90.0	8.8	1.2
	60歳代	62	54	8	0
		100.0	87.1	12.9	0.0
	70歳代以上	9	8	0	1
		100.0	88.9	0.0	11.1
	鹿児島地域	710	579	117	14
		100.0	81.5	16.5	2.0
地域別	南薩地域	58	47	10	1
		100.0	81.0	17.2	1.7
	北薩地域	89	75	11	3
		100.0	84.3	12.4	3.4
	始良・伊佐地域	166	134	30	2
		100.0	80.7	18.1	1.2
	大隅地域	150	121	27	2
		100.0	80.7	18.0	1.3
地域別	熊毛地域	27	22	3	2
		100.0	81.5	11.1	7.4
	大島地域	38	32	6	0
		100.0	84.2	15.8	0.0

4. 育児休業制度について

問 19 貴社ではこれまでに育児休業制度を利用した従業員はいましたか。(〇はひとつ)

育児休業制度の取得状況について、「男女ともに取得した従業員がいる」が 37.0%、「女性で取得した従業員がいる」が 35.0%、「男性で取得した従業員がいる」が 4.0%、「いない（該当者がいない場合も含む）」が 24.0%となっている。

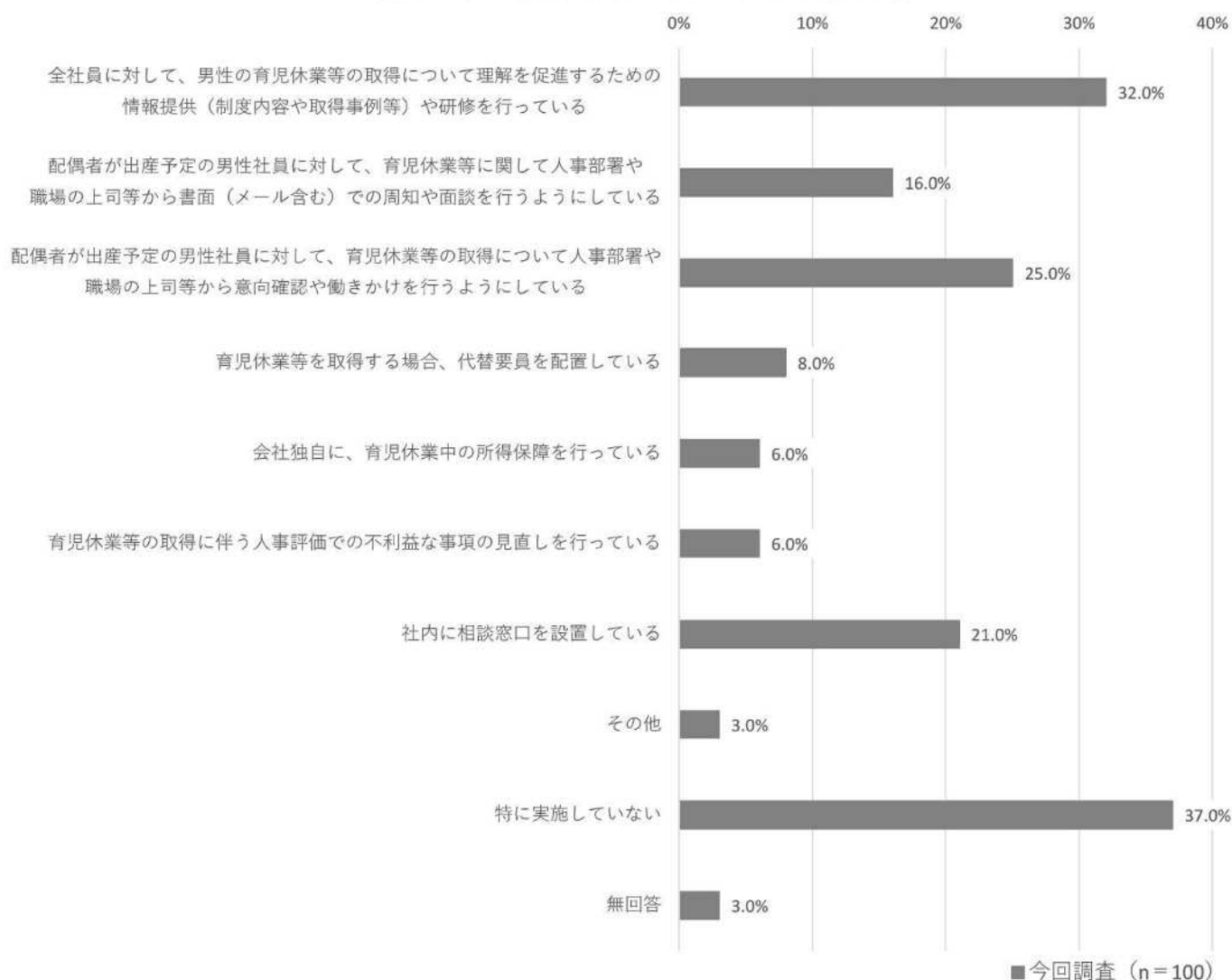
前回調査と比較すると、「男女ともに取得した従業員がいる」が 23.4 ポイント増加している。



**問 20 貴社の男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容についてお答えください。
(〇はいくつでも)**

男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容について、「特に実施していない」が37.0%で最も多いが、取り組んでいる場合の内容については、「全社員に対して、男性の育児休業等の取得について理解を促進するための情報提供（制度内容や取得事例等）や研修を行っている」（32.0%）、「配偶者が出産予定の男性社員に対して、育児休業等の取得について人事部署や職場の上司等から意向確認や働きかけを行うようにしている」（25.0%）、「社内に相談窓口を設置している」（21.0%）となっている。

【男性社員の育児休業取得促進に関する取組内容】

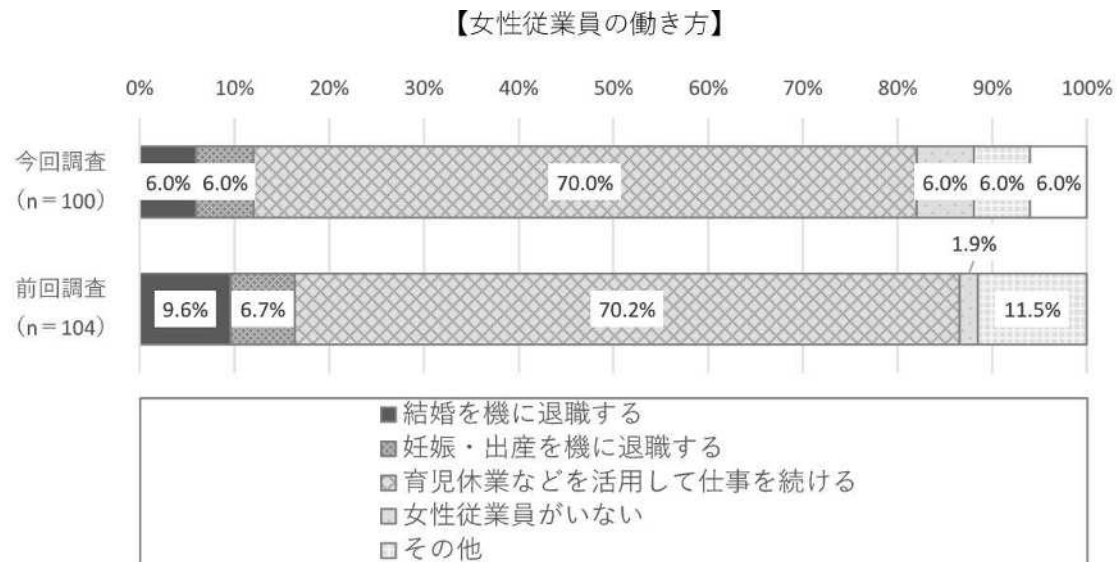


※今回調査から実施

5. 子育て支援について

問 21 貴社の女性の働き方として、どのような形が多いですか。(〇はひとつ)

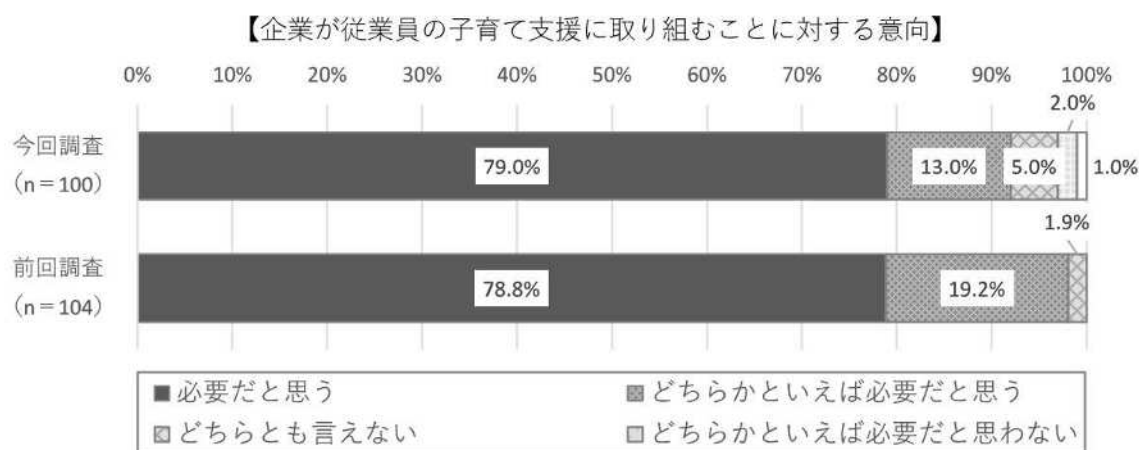
女性従業員の働き方について、「育児休業などを活用して仕事を続ける」が70.0%で最も多く、「結婚を機に退職する」「妊娠・出産を機に退職する」「女性従業員がいない」「その他」がそれぞれ6.0%となっている。



問 22 企業が従業員の子育て支援に取り組むことについてどう考えますか。(〇はひとつ)

企業が従業員の子育て支援に取り組むことに対する意向について、「必要だと思う」が79.0%、「どちらかといえば必要だと思う」が13.0%となっており、この2項目を合わせた『必要である』は92.0%となっている。

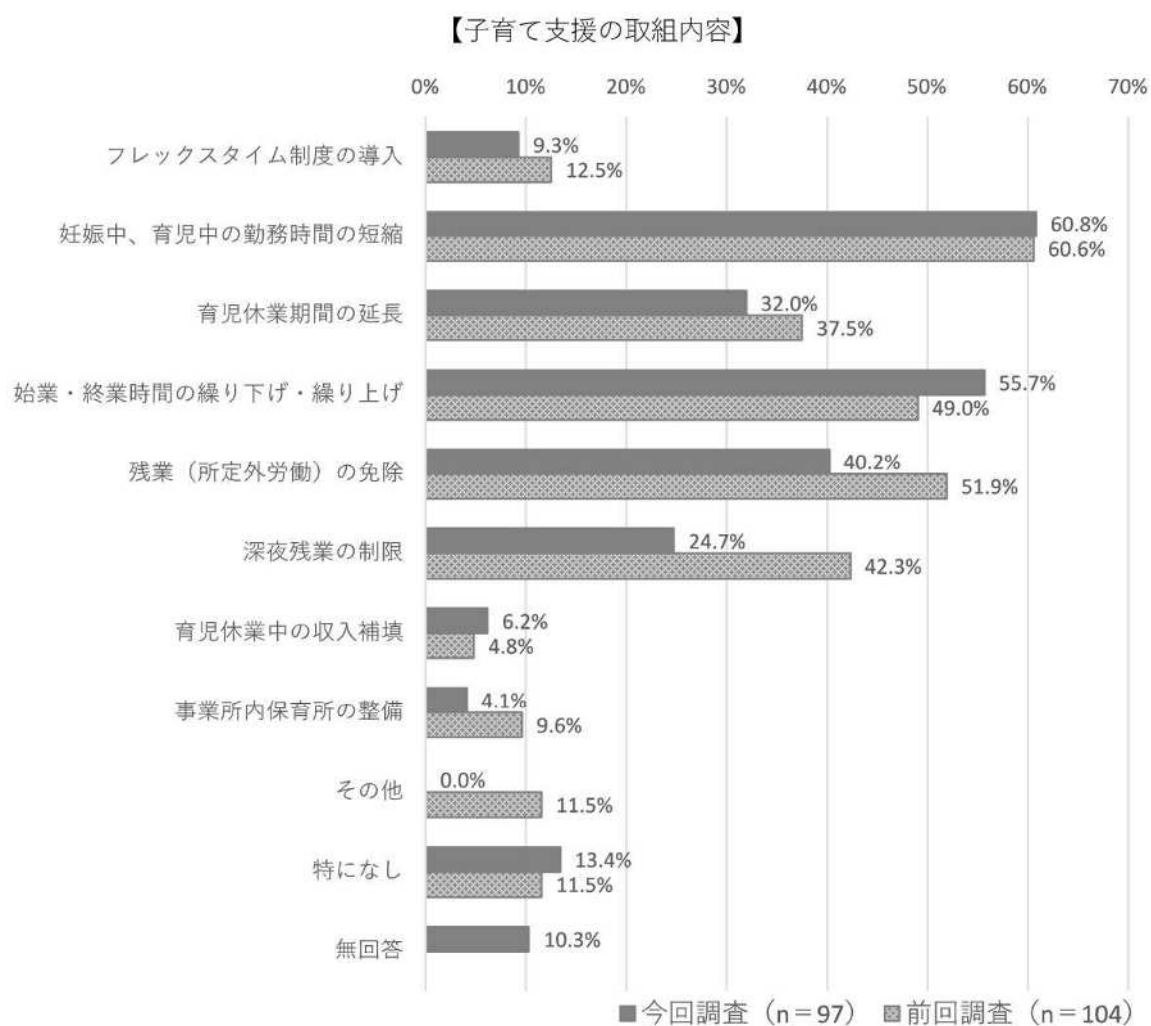
一方、「必要だと思わない」は2.0%となっている。なお、「どちらとも言えない」は5.0%となっている。



問 23 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

子育て支援の取組内容について、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が60.8%で最も多く、次いで「始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ」(55.7%)、「残業(所定外労働)の免除」(40.2%)となっている。

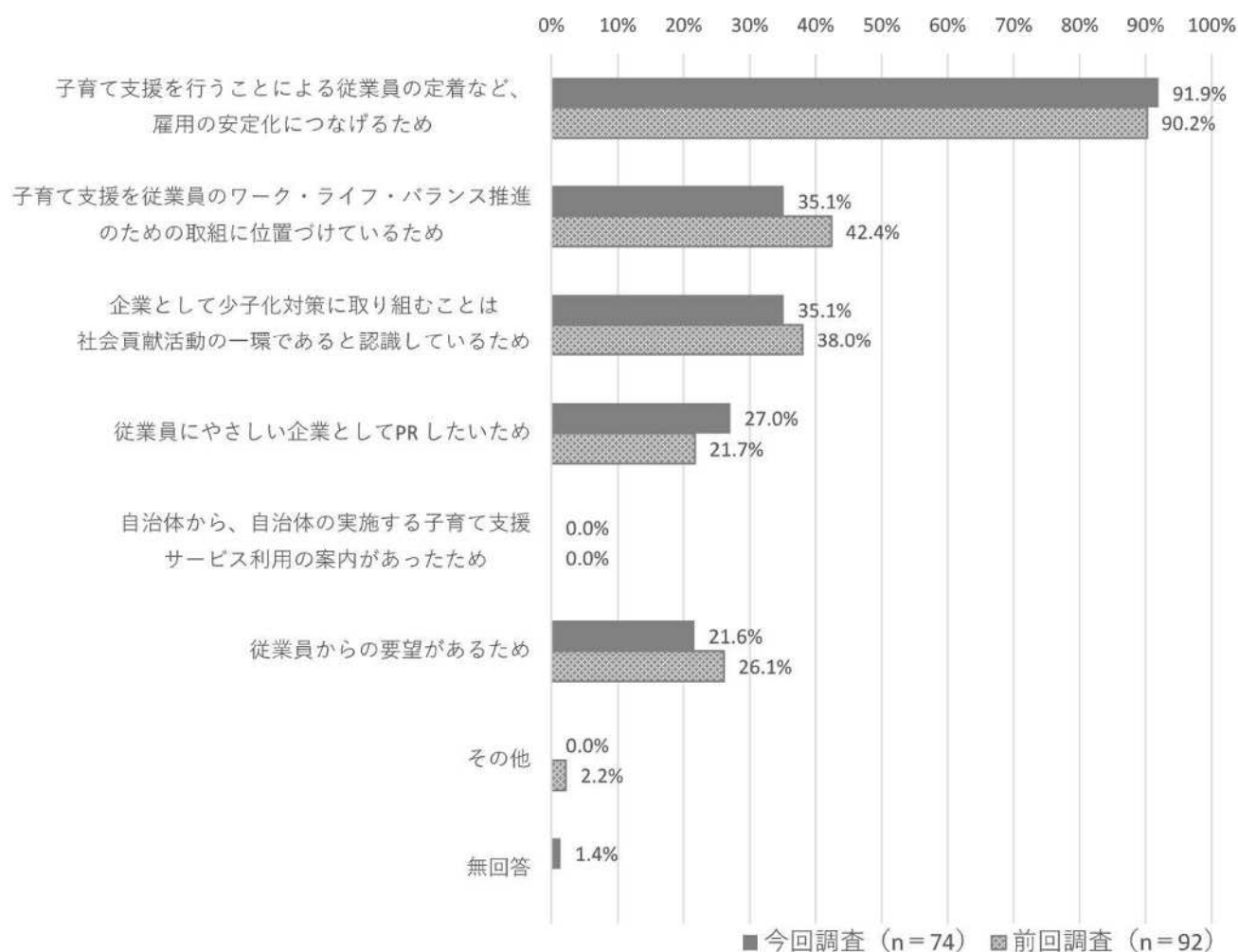


問 24 子育て支援に取り組んでいる理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 23 で「特になし」以外を回答した方】

子育て支援に取り組む理由について、「子育て支援を行うことによる従業員の定着など、雇用の安定化につなげるため」が 91.9%で最も多く、次いで「子育て支援を従業員のワーク・ライフ・バランス推進のための取組に位置づけているため」「企業として少子化対策に取り組むことは社会貢献活動の一環であると認識しているため」（いずれも 35.1%）、「従業員にやさしい企業としてPR したいため」（27.0%）となっている。

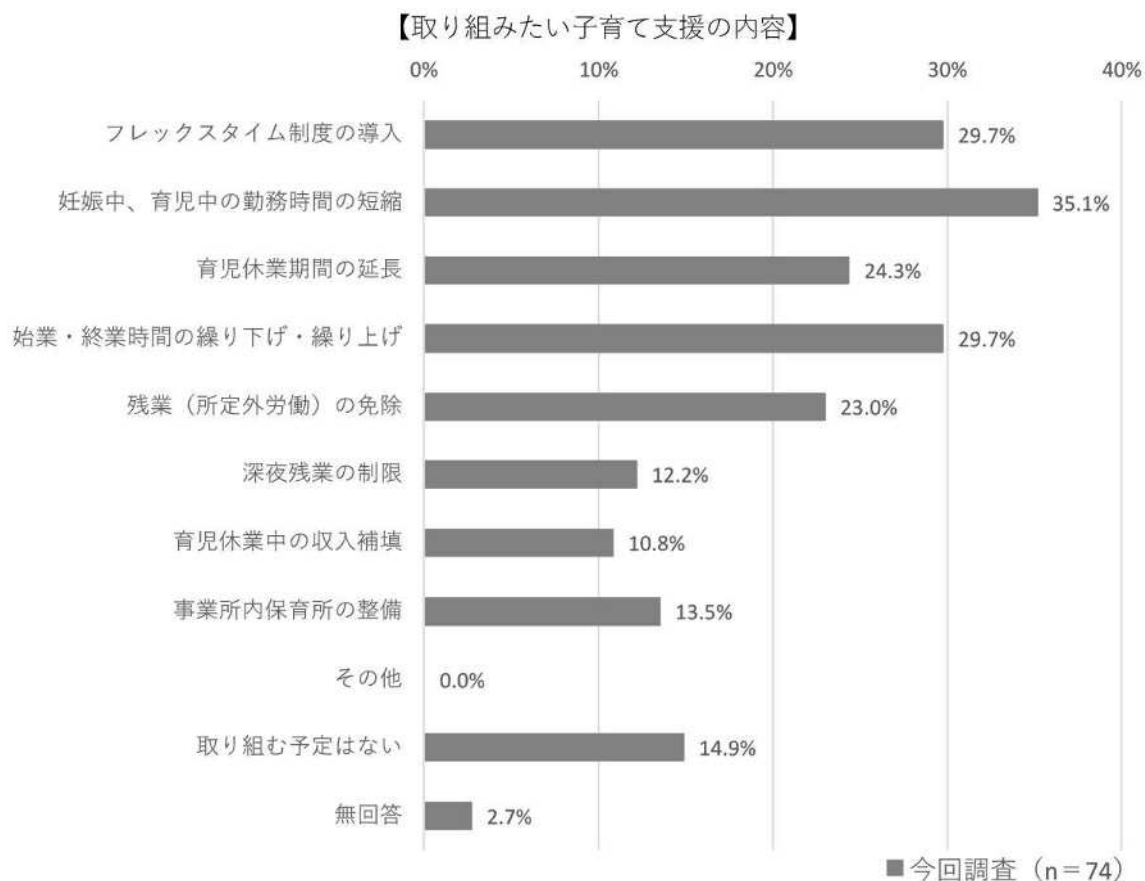
【子育て支援に取り組む理由】



問 25 今後、貴社で取り組みたい子育て支援の内容についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

取り組みたい子育て支援の内容について、「妊娠中、育児中の勤務時間の短縮」が 35.1%で最も多く、次いで「フレックスタイム制度の導入」「始業・終業時間の繰り下げ・繰り上げ」(いずれも 29.7%)、「育児休業期間の延長」(24.3%)となっている。



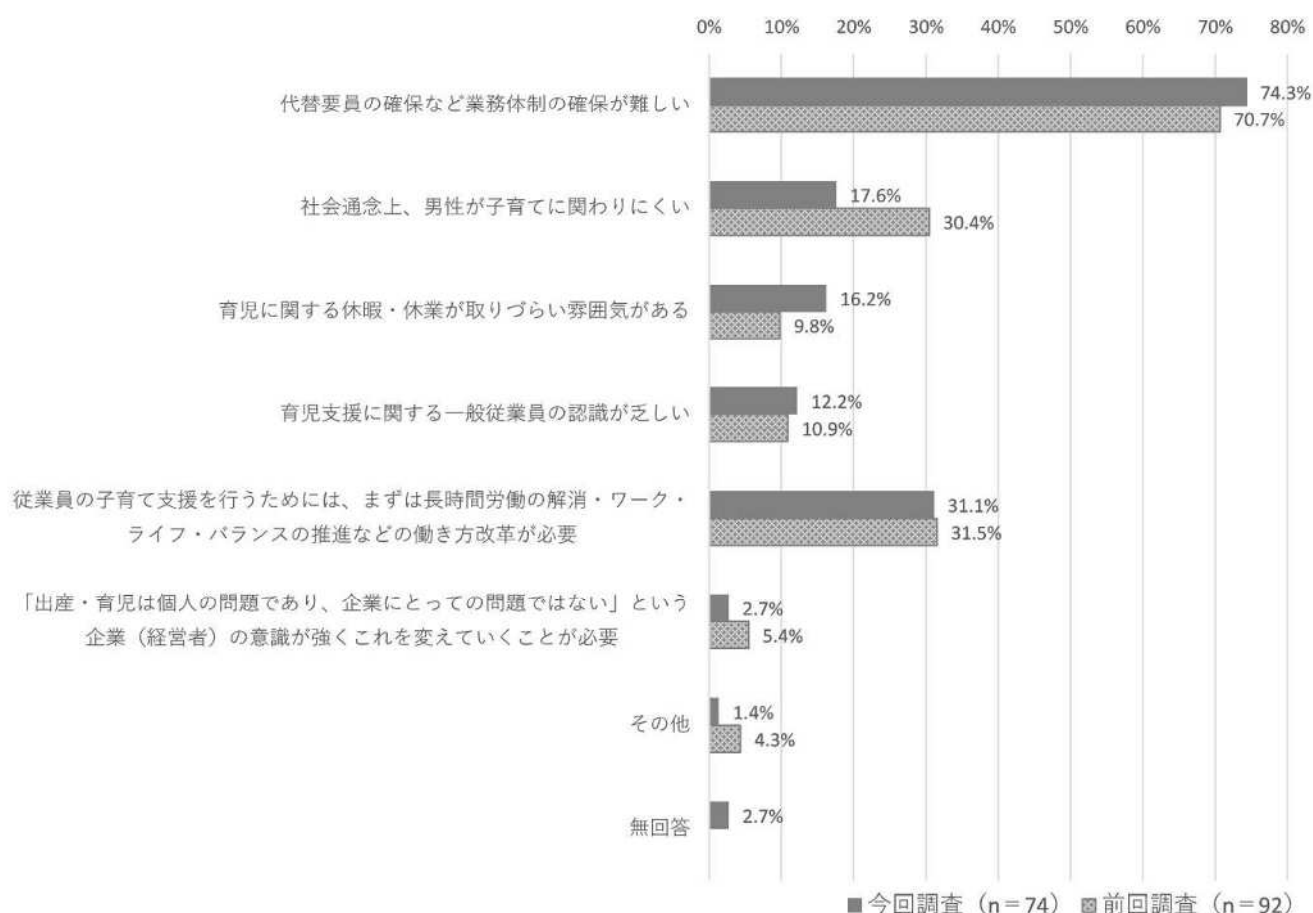
※今回調査から実施

問 26 企業が従業員の子育て支援を行うことの課題についてお答えください。(〇はいくつでも)

【回答者：問 22 で「必要だと思わない」以外を回答した方】

従業員の子育て支援を行う上での課題について、「代替要員の確保など業務体制の確保が難しい」が 74.3%で最も多く、次いで「従業員の子育て支援を行うためには、まずは長時間労働の解消・ワーク・ライフ・バランスの推進などの働き方改革が必要」(31.1%)、「社会通念上、男性が子育てに関わりにくい」(17.6%)となっている。

【従業員の子育て支援を行う上での課題】

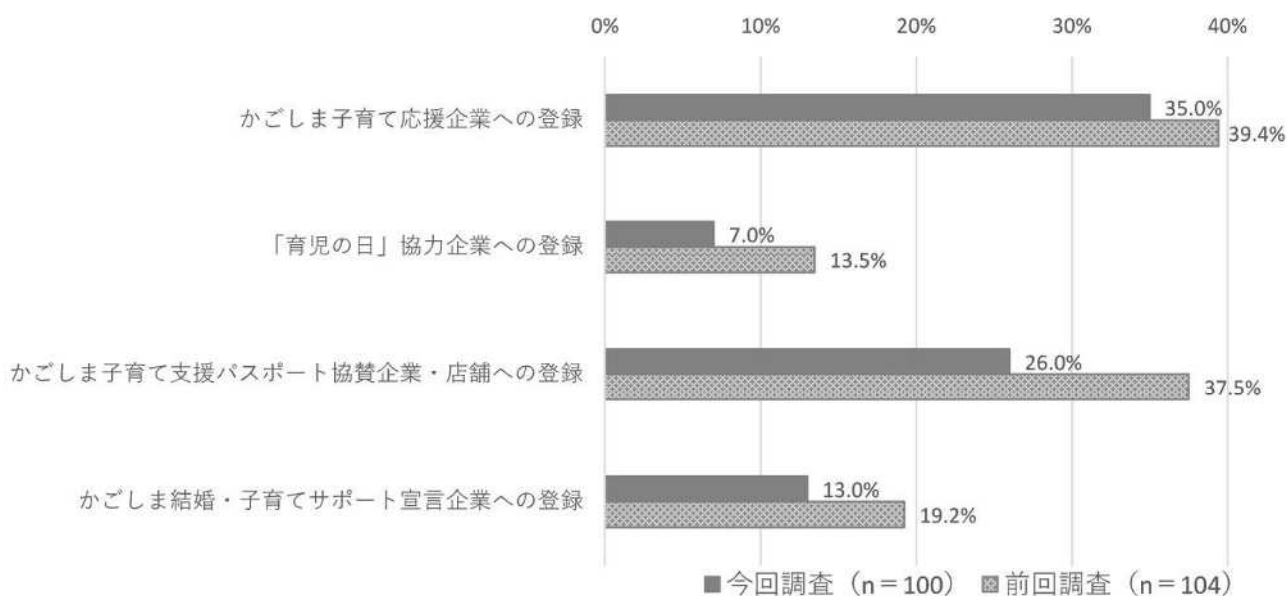


問 27 鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業について、「知っている」または「既に取り組んでいる」ものを全て選択してください。（〇はいくつでも）

<認知度>

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の認知度について、「かごしま子育て応援企業への登録」が 35.0%で最も多く、次いで「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」(26.0%)、「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録」(13.0%)となっている。

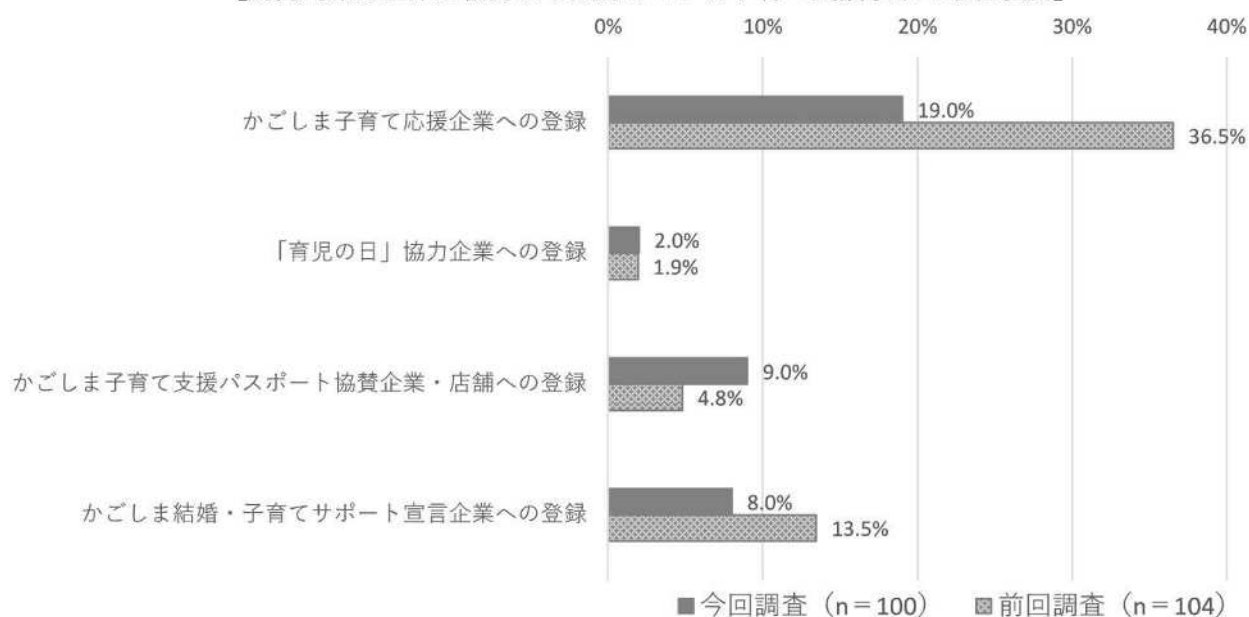
【鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の認知度】



<取組状況>

鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の取組状況について、「かごしま子育て応援企業への登録」が 19.0%で最も多く、次いで「かごしま子育て支援パスポート協賛企業・店舗への登録」(9.0%)、「かごしま結婚・子育てサポート宣言企業への登録」(8.0%)となっている。

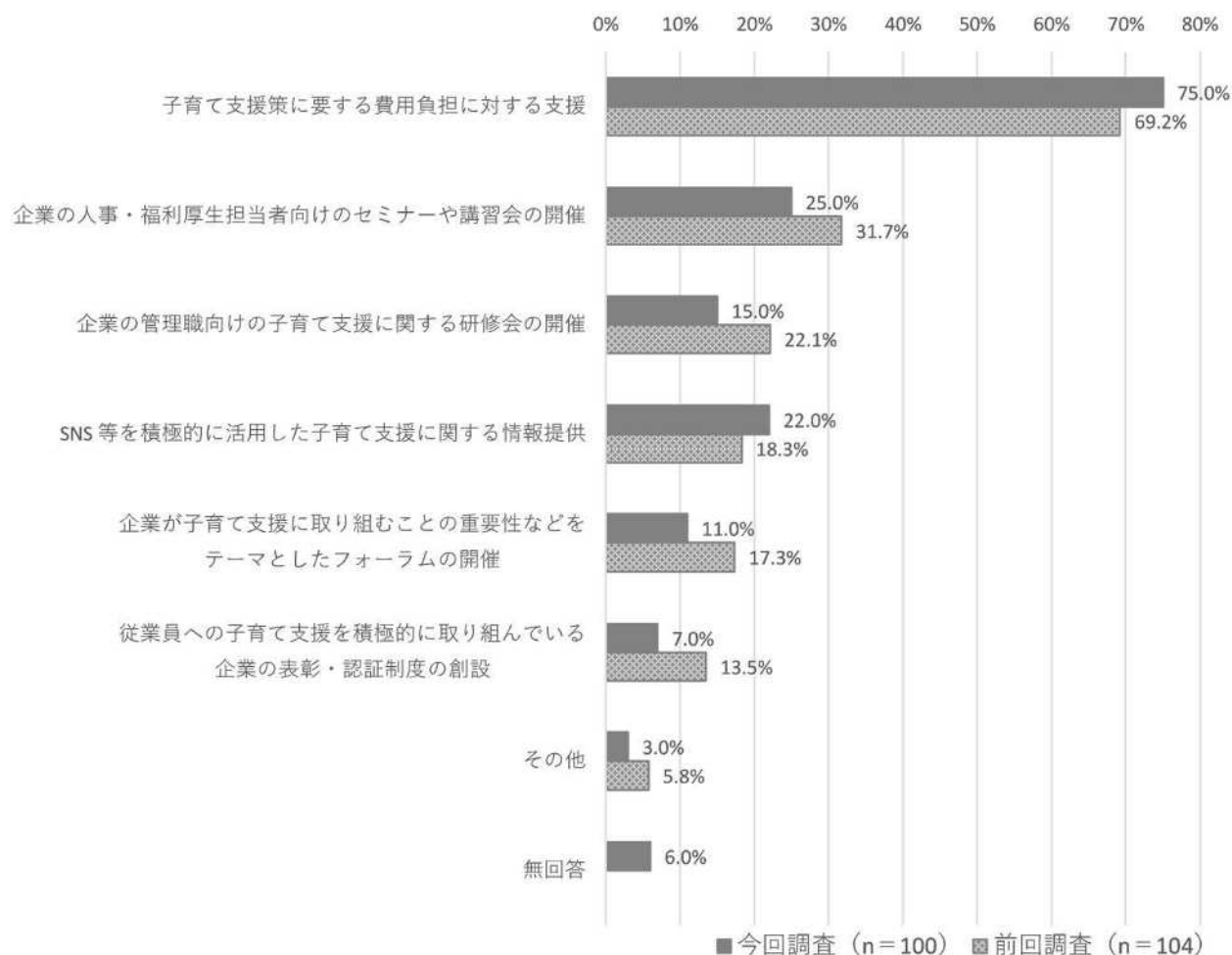
【鹿児島県が企業と協力して実施している子育て支援事業の取組状況】



問 28 行政に期待する子育て支援についてお答えください。(〇はいくつでも)

行政に期待する子育て支援について、「子育て支援策に要する費用負担に対する支援」が75.0%で最も多く、次いで「企業の人事・福利厚生担当者向けのセミナーや講習会の開催」(25.0%)、「SNS等を積極的に活用した子育て支援に関する情報提供」(22.0%)となっている。

【行政に期待する子育て支援】



問 29 少子化問題についてのご意見、この調査に対するご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

【寄せられた意見（抜粋）】

- 出産費用や保育料の費用負担の支援を充実させる必要がある
- 従業員へいろいろな支援をしたいが資金がない。
- 男性従業員の育休中の収入減がやはりネックになる。家計の事を考えると、長期育休は取りづらい。
- 土地がら子育てをサポートしてくれる家族、兄弟、親戚等がいる為、子を産み、育てやすい環境だと思う。又、子たくさんな家庭が多い為、急な休み、学校行事への参加等による休憩時間の変更、年休使用等柔軟に対応している。
- 少子化問題をすすめる一方、結婚していない、子どもがいない方々への配慮も必要。
- 「子育てにお金が掛かる」というイメージを持たせるような報道の仕方にも問題がある。子育て＝お金・大変ではなく、子育て＝自分育てで人生でかけがえのない経験、宝であるというイメージを若い人達に伝えていくべき。
- 第三子の助成金や大学無償化の前に、まずは結婚と、安心して一人の子どもを育てることができる社会、制度を優先すべきでは。・安定した収入で結婚・子育てができるかの不安への対応 ・子どもが成人する時代への不安。